

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

令和8年4月14日

総務委員会

# 速報版

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

午前9時57分開会

○渡辺ひであき委員長 おはようございます。定刻前でございますけれども、皆さんおそろいですので、これより総務委員会を開会させていただきます。

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 まず初めに、私より記録署名員2名を御指名申し上げます。

岡安委員、土屋委員、よろしくお願いをいたします。

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 次に、異動管理職の紹介があります。

まず、工藤副区長から、異動のあった部長級職員について紹介をお願いします。

○工藤副区長 おはようございます。副区長の工藤信でございます。よろしくお願いいたします。

私から、4月1日付で総務委員会所管の部長級職員に異動がありましたので、私の担任する部長級職員を紹介いたします。

田中靖夫施設営繕部長です。前任職は建築室長です。

○渡辺ひであき委員長 ありがとうございます。

続いて、政策経営部長から、異動のあった所管の課長級職員の紹介をいたします。

○政策経営部長 私から、政策経営部内の異動があった課長級職員を紹介いたします。

山崎悠生ICT戦略推進担当課長です。前任職は政策経営課政策経営担当係長で、今回昇任です。

小口信一区政情報課長です。前任職は契約課長です。

続きまして、池林智紀区民の声相談課長です。前任職は地域文化課郷土博物館長で、今回昇任と

なります。

○渡辺ひであき委員長 ありがとうございます。

続いて総務部長から異動のあった所管の課長級職員の紹介をお願いします。

○総務部長 私から、総務部内及びガバナンス担当部内の異動があった課長級職員を紹介いたします。山根晃契約課長です。前任職は区政情報課長です。

齊藤進ガバナンス担当課長です。前任職は危機管理課反社会的勢力対策担当係長で、今回昇任です。

○渡辺ひであき委員長 続いて、危機管理部長から異動のあった所管の課長級職員の紹介をお願いします。

○危機管理部長 私からは、危機管理部内の異動があった課長級職員を紹介いたします。

大北有慶災害対策課長です。前任職は福祉まると相談課長です。

鶴田広樹災害対応力強化担当課長です。前任職は東京消防庁世田谷消防署警防課長で東京消防庁からの派遣でございます。

下川貴行防災戦略課長です。前任職は私立保育園課公設民営担当係長で、今回昇任でございます。

○渡辺ひであき委員長 ありがとうございます。

続いて、施設営繕部長から異動のあった所管の課長級職員の紹介をお願いします。

○施設営繕部長 私から、施設営繕部内の異動があった課長級職員を紹介いたします。

國井重信東部地区建設課長です。前任職は都市建設課都市計画係長で、今回昇任です。

山下栄一西部地区建設課長です。前任職は庁舎管理課長です。

吉永隆史庁舎管理課長です。前任職は中部地区建設課庶務係長で、今回昇任です。

○渡辺ひであき委員長 ありがとうございます。

以下の審査に直接担当でない執行機関の退席を認めます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

[執行機関一部退席]

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 次に、請願・陳情の審査に移ります。

(1) 5受理番号18 日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める請願を単独議題といたします。

前は継続審査であります。

執行部から何かございますか。

○総務課長 特に変化はございません。

○渡辺ひであき委員長 それでは、質疑に入ります。

なお、申し上げます。今日は、午後に区民委員会もございまして、それを踏まえての質疑をできるだけよろしく願いをいたします。

それでは、何か質疑ございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○渡辺ひであき委員長 質疑なしと認めます。

各会派の意見をお願いします。

○伊藤のぶゆき委員 自民党の意見としましては、日本が唯一の世界の被爆国であるということは当然でございますけれども、核軍縮に取り組む上で人道と安全保障の2つの観点を考慮することが重要であるということを考えておりますけれども、この禁止条約については、安全保障の観点が踏まえていないということでございます。

ただやはり今現状を見ても、多分アメリカとイスラエルとイラン、また、ロシアとウクライナ、正にこの核が今、問題になっているこの現状で、しっかりと現実的な議論をしっかりと重ねていかなければいけないということを踏まえますと、自民党としては引き続き、もう少し検証していかなければいけないということで、継続とさせていただきます。

○岡安たかし委員 公明党も唯一の被爆国である日本、そして、使命としてはしっかりと平和の橋渡し

をしなければいけない日本だとは思っておりますけれども、皆様御存じのとおり、アメリカの安全保障の下、その核の傘の下で日本は守られている現実もございます。この現実を踏まえてしっかりと議論を重ねて、どうすれば本当に有効的な核拡散とこののを防止できるかというのをもっと探っていかなければいけないなど。これは、国会の方でもしっかりと議論をされているところでございますけれども、我が党としても、これはしっかりと議論を重ねていくという意味で、継続をお願いします。

○はたの昭彦委員 大国の指導者が、核の使用をちらつかせて、力による現状変更を迫っていく中で、本当に核兵器使用の可能性が現実のものとして非常に大きくなっているという中では、やっぱり唯一の被爆国である日本が、この核兵器禁止条約の批准の先頭に立って、やっぱり核兵器廃絶の立場を表明していくということが何より大事だと。

被爆者がなかなか高齢化する中で、やっぱり被爆の現状を伝えていくか、なかなかこう伝えることが難しくなっていく現状の中では、本当にこの条約の批准が大事だと思いますので、引き続き採択を求めたいと思います。

○へんみ圭二委員 継続です。

○川村みこと委員 継続をお願いします。

○土屋のりこ委員 紹介議員になっておりますので、採択を求めます。

○渡辺ひであき委員長 これより採決いたします。

本請願は継続審査とすることに賛成の方の挙手を願います。

[賛成者挙手]

○渡辺ひであき委員長 挙手多数であります。よって、本件は継続審査とすることに決定をいたしました。

次に、5受理番号26 希望する自治体が職員の定年を65歳から70歳まで引き上げることができる制度を導入するよう国に意見書の提出を求める陳情を単独議題といたします。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

前回は継続審査であります。

執行部は何か変化ございますか。

○人事課長 特に大きな変化はございません。

○渡辺ひであき委員長 それでは、質疑に入ります。

何か質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺ひであき委員長 質疑なしと認めます。

それでは各会派の意見を求めます。

○伊藤のぶゆき委員 継続をお願いします。

○岡安たかし委員 我が党も、これはいずれはこうなるのでしょけれども、やっぱり現実を見詰めていかなければいけないということで、継続をお願いします。

○はたの昭彦委員 継続をお願いします。

○へんみ圭二委員 継続です。

○川村みこと委員 継続をお願いします。

○土屋のりこ委員 継続をお願いします。

○渡辺ひであき委員長 それでは、採決いたします。

本件は継続審査とすることに御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺ひであき委員長 御異議なしと認め、継続審査とすることに決定をいたしました。

以下の審査に直接担当ではない執行機関の退席を認めます。

〔執行機関一部退席〕

◇

○渡辺ひであき委員長 次に、所管事務の調査を議題といたします。

DX推進に関する調査についてを単独議題といたします。

何か質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺ひであき委員長 質疑なしと認めます。

◇

○渡辺ひであき委員長 次に、報告事項を議題といたします。

1から4以上4件を政策経営部長から、5、6以上2件をあだち未来創造室長から、7から11以上5件を危機管理部長から、12、13以上2件を資産活用部長から、14から17以上4件を施設営繕部長から報告をお願いします。

○政策経営部長 恐れ入ります。政策経営部の報告資料2ページをお開きください。

足立区審議会等の設置及び運営に関する指針、こちらの中の委員の兼任数の変更でございます。

審議会等の委員の兼任数につきましては、現在、5を超えないこととなっております。区民の方から幅広く意見を求めるため、こちらを3を超えないことに改正をするというものでございます。

ただし、区議会議員の皆様、また、警察や消防など行政機関の長については、今回の考え方からは除くものとしたしたいと思います。

施行日は、令和8年の4月1日ですが、委員の任期満了後に、次期改選時、その際に順次対応していきたいと考えております。

なお、項番の4にお示ししております、国や都の状況でございますが、国は原則3、東京都は2というような規定がございます。

項番5今後の方針でございます。

既に3を超えてる委員につきましては、政策経営課が調整をいたしまして、改選期を考慮しながら、適正な兼任数の実現に努めていきたいと考えております。

続きまして3ページ、令和7年度の区外プロモーションの実施の結果でございます。

実施の内容につきましては、項番1に記載しておりますが、吉本興業株式会社と千住のプロモーション、また子育てしやすいまちに関するプロモーションを実施してまいりました。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

項番2全体の総括でございます。

詳細は別紙1におまとめをしておりますけれども、全体の広告換算価値換算の合計は約9億6,000万円となりまして、目標の3億円を大きく上回っております。

今後の方針でございますが、今年度は波及力の大きいメディアへのアプローチをメインに、地域の魅力や、区の先進施策の更なる露出に取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして、6ページでございます。

千住宿開宿400年事業の実施結果についての御報告でございます。

項番2でございますけれども実施結果です。詳細は別紙におまとめをしております。

郷土博物館の特別展示、またととなう、千住。など、400年の特別事業10件を含みまして、全部で79事業を実施いたしました。そのうちの6割が、例えば来場者数、再生回数など目標を上回っております。

今後、新たに、また多くの企業や団体とつながることができましたので、関係を深めることができたというふうに考えております。

今後の方針でございます。

今年度中に、記念事業をまとめましたアーカイブ冊子を作成予定でございます。

続きまして15ページ、飛びます。御覧ください。

令和7年度のイメージ調査、区外のイメージ調査でございます。今回で5回目となります。このイメージ調査でございます。

調査の概要は、項番1に記載のとおりでございます。

主な調査結果でございますが、まず足立区のイメージでございます。

令和6年度と比較いたしましてよいが1.3ポイント増加をしております。

16ページに年齢別で、こちらグラフにしてご

ざいます。

調査を開始いたしました令和3年度と比較しまして、特に、20代、30代の、このプロモーションのメインターゲットとしております若い年齢層で、よいというイメージの向上が顕著ございました。

続いて、19ページを御覧ください。

足立区で知っている又は聞いたことがあるというものは、西新井大師がトップでございました。

続いて、21ページをお開きください。

各情報の情報元、よい情報の情報元でございますが、ニュース、情報番組、バラエティー番組などが多くなっております。

続いて22ページ、今後の方針でございますが、SNS、メディア等での印象が足立区のイメージを形成しているということから、今年度は、メディアアプローチ、直接のアプローチを強化いたしまして、まちの魅力を、露出拡散を図っていきたいと考えております。

私からは以上でございます。

○あだち未来創造室長 恐れ入ります。政策経営部資料の23ページをお開きください。

まず、あやセンターぐるぐるとぐるぐるKIOSKについてでございます。

去る2月の27日ですけれども、ぐるぐるの運営事業者の評価委員会を開催いたしました。評価委員に関しましては、記載のとおりでございます。

評価結果につきましては93%、得点率ということで、非常に高い点数となっております。

中で主な意見を記載してございますけれども、大きくは2点です。

1つは、子どもや若者の取組を更に強化してほしいという御意見。

もう1点が、2年たちまして、今後の自走について検討を進めてほしいというような御意見を、特に外部アドバイザーの方からいただいたところでございます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

24ページをお開きください。

こういった御意見を踏まえまして今回、あやセンターぐるぐるの自走について区の考え方を少し整理をさせていただきました。

自走に考え方は大きく2つあると思ってまして、活動やコミュニティの自走と金銭的な自走、大きく2つあるのかなというふうに考えてございます。

2年経過して分かったこととしては、コミュニティの自走に関しては、一定程度新しい方ともお付き合いができるようになったと評価してるところですけれども、金銭的なところに関しては、なかなかやはり自走のハードルが高いのではないかというのが、現時点の私どもの認識でございます。

今後につきましては、活動のコミュニティの自走を目指しつつ、区として、どのような予算措置、今後の予算の掛け方が必要なのかということを整理してまいりたいというふうに考えてございます。

続きまして、ぐるぐるKIOSKでございます。

7月の24日に今年度第1回目を開催いたします。

今後につきましては、25日前後の金曜日夜で、定着させていきたいと考えてございますので、また、御報告をさせていただきます。

今後の方針でございます。

25ページです。

自主的な活動の成長度合いを見ながら、ほかの区のイベントとの連携等を今後検討してまいりたいと考えてございます。

27ページをお開きください。

たけのつカー&パークの進捗状況でございます。

去る3月22日にぐるぐる博を開催させていただきました。4,000人弱の来場者来ていただきまして、特に20代から30代の子ども連れの来場者が多かったのかなと感じてございます。

参加者の声も、竹の塚に対する期待、たけのつカー&パークに対する期待の声も、たくさんいただいておりますので、今後の方針ですが、今日、正式にオープンになりますけれども、昨日時点で25件ほどお問合せいただいております。順調なスタートなのかなと、私たちは思っておりますけれども、これを広げられていくように、丁寧に伴走支援してまいりたいと考えてございます。

私からは以上でございます。

○危機管理部長 それでは、危機管理部の報告資料2ページを御覧ください。

件名は、令和8年度防犯対策補助事業の実施の方向性についてでございます。

本件は、今年度5月11日から実施いたします防犯対策物品の購入補助事業の内容について報告するものでございます。

項番1では、概要といたしまして、品目について3ページから4ページの表のとおりであること。

項番2では、昨年度の本制度からの変更点といたしまして、東京都の補助金額が2万円から1万円となったため、本人負担額が最大1万円増えてしまうことについて記載してございます。

刑法犯認知件数が令和8年2月の時点で23区ワースト2位となっております。

中でも件数が増えている自転車盗やオートバイ盗に対する緊急対策の1つとして、終了予定であった品目を復活させて実施いたしまして、全体で約9,000万円の予算立到達した時点で、段階で終了する点なども含めまして、区民の方の皆様への周知を徹底して事業を進めてまいりたいと考えております。

続きまして、5ページを御覧ください。

件名は、ながら見守り啓発活動の実施結果等についてでございます。

本件は、日常生活を送りながら地域を見守ることで、地域や子どもたちの安全を守るながら見守りの令和7年度の取組について御報告するもので

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ございます。

項番1では、商業施設などでのPRイベントや地域包括支援センターでの高齢者への啓発活動、6ページにまいりまして、警察署の事業ではございますが、ペット散歩時のわんわんパトロール隊、7ページにまいりましてタクシーのラッピング、8ページに参りまして啓発活動について記載してございます。

項番2では、ながら見守り登録者にアンケートを実施しましたので、その結果について記載してございます。

今後につきまして、項番3、令和8年度の実施方針といたしまして、新たなものも含めながら様々取組を実施いたしまして、この活動を更に広く区民の方に周知し御参加いただき、体感治安の向上や刑法犯認知件数の減少に努めてまいりたいと考えてございます。

続きまして、10ページを御覧ください。

件名は、高校生自転車カギかけありがとうキャンペーンの実施結果等についてでございます。

本件は、令和7年度に、自転車盗対策として区内都立高校9校で実施したキャンペーンの取組結果について報告するものでございます。

項番1では、9校の平均施錠率を推移、啓発チラシコンクールの受賞作品、アンケート結果について記載してございます。

今後につきましては、11ページございますとおり、令和8年度も同様に実施したいと考えており、議会からも御意見頂戴いたしました景品についての検討を進めながら実施してまいりたいと考えてございます。

続きまして、12ページを御覧ください。

件名は、足立区新型インフルエンザ等対策行動計画改定に伴うパブリックコメントの実施についてでございます。

本件は、平成26年度に策定いたしました本行動計画につきまして、昨年度、その根拠となりま

す東京都が計画を改定したことを受けまして、当区でも改定作業を行いました。

今年度はパブリックコメントを実施いたしますので、そのことについて報告するものでございます。改定案につきましては、サイドボックスの中に改訂版といたしまして、全編を掲載してございます項番2の内容でパブコメ実施いたしまして、今後7月の運用開始を目指してまいりたいと考えてございます。

続きまして、恐れ入りますが、追加となりました案件について報告させていただきます。

追加資料の2ページを御覧ください。

件名は、刑法犯認知件数減少に向けた緊急対策についてでございます。

本件は、刑法犯認知件数の23区での順位が令和7年の年間で、また、令和8年に入りまして、2月末時点の両方においてワースト2位という、そういった結果であることを受けまして、緊急対策を実施することについて報告するものでございます。

項番1では、認知件数の状況、項番2からは緊急対策の実施内容といたしまして、防犯カメラの緊急設置、区からの情報発信といたしまして、自転車盗が多く発生する場所への横断幕の掲出、若者がより強化できる高校生による情報発信、インターネット閲覧中の若者、区内の若者限定で啓発広告をポップアップさせるパーソナライズ広告を実施する、こういったことを記載してございます。

またこちらには記載ございませんが、危機管理課の職員全員で、毎日交代で、区内の駐輪場もありまして、啓発ポスターの掲出、無施錠者への警告の札付け、古くなった掲出物の貼り替えなどを、今現在実施しているところでございます。

今後につきましては、刑法犯認知件数の推移を見て分析を行いながら、今回の短期的な対策とともに、中長期的な視野を持ちながら、対策の実施検討を進めてまいりたいと考えてございます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

私から以上でございます。

○資産活用部長 よろしくお願いたします。

恐れ入ります。資産活用部資料の2ページをお願いいたします。

件名につきましては、旧鹿浜西小学校跡地に関する進捗状況でございます。

1つ目は、スーパーマーケットの開業についてございまして、3月の19日に無事開業したということでございます。

入居するテナントについては記載のとおり、施設の様子については写真7枚を付けさせていただいております。

3ページをお願いいたします。

旧鹿浜西小学校跡地の北側道路についてということでございまして、当該施設の北側の道路の一部の部分につきましては、令和8年3月16日から、一方通行から★★に変更したために報告させていただきたいと思っております。

続きまして、6ページをお願いいたします。

足立区公共施設等総合管理計画に基づく取組み状況でございます。

1つ目につきましては、足立区公共施設マネジメント推進委員会の開催結果ということで、2月と3月に開催させていただきましたので、その内容について本日御報告でございます。

(1)のアでございますが、公共施設等の情報一元化の取組ということでございまして、令和6年度末確定ということで、別紙1に、9ページから12ページまで資料の方を付けさせていただいております。

続いてでございますが、公共総合管理計画の基礎的な数値の把握ということで、こちらの方も別紙3で、13ページ、14ページ載せさせていただいております。令和4年から令和6年までの3か年を比較して、資料の方を付けさせていただいております。

以下、内容は記載のとおりでございます。

7ページを御覧いただきたいと思います。

区民向けの周知啓発についてということで、2点でございます。

1点が、区ホームページの方を少し情報を追加して、内容を充実させていただいたことの御報告でございます。QRコードにより御覧いただけますので、後ほど御覧いただければと思います。

(2)でございますが、広報での周知活動を3月25日号に掲載させていただきましたということでございます。

3の今後のスケジュール、今年度のスケジュールでございますが、7ページから8ページ目に記載のとおりでございまして、このとおり進めてまいりたいと思っております。

私から以上でございます。

○施設営繕部長 施設営繕部の報告資料の2ページをお願いいたします。

本庁舎北館大規模改修工事の進捗についてでございます。

現在第1期の工事が完了しまして、第2期の工事に着手しております。

令和8年度末までに3階部分の工事完了を目指すことといたしまして、概成工期を定めております。その後、令和9年度になりましたら、区民部が3階に引っ越しまして、引き続き2階部分の工事を進めてまいります。

工事内容につきましては、項番2に記載のとおりでございます。

今後も利用者への案内や情報提供に努めながら、安全を確保して工事を進めてまいります。

4ページをお願いいたします。

ZEB認証取得状況についてでございます。

令和7年度末に、区営大谷田二丁目アパート東部福祉課の合築施設の設計に関しまして、ZEB認証を取得いたしました。

区営住宅の部分は、ZEH-M Oriented、東部福祉課事務所部分はZEB Ready

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ということで、エネルギー削減率等は表に記載のとおりでございます。

これまでのZEB認証取得済み施設と認証予定の施設、認証を検討している施設を(2)から(4)に記載しております。

今後は、新たに施設を建設する際に、ZEB Ready認証取得の検討を行ってまいります。

5ページをお願いいたします。

本庁舎地下駐車場運用システムの更新についてでございます。

新たに導入するシステムにつきましては、項番1に記載のとおりでございます。

項番2の利用の流れですが、来庁者にはこれまでどおり発券機で駐車券を受領していただき、サービス窓口で職員が駐車券の割引処理を行います。公用車等登録車両につきましては、自動でゲートバーが開閉いたします。来庁者がお帰りの際には、エレベーターホールに設置する事前精算機を御利用になるか、出口精算機に割引処理後の駐車券を挿入するか、いずれかにより精算処理を行っていただきます。

更新費用は1億1,550万円、令和13年5月までの全契約期間の総額となります。

今後は、令和8年6月1日の新システム稼働を目指してまいります。

7ページをお願いいたします。

本庁舎内のコンビニエンスストア入札状況についてでございます。

本件につきましては、4月10日に一般競争入札が行われまして、2社が応札した結果、株式会社ファミリーマートが落札者に決定いたしました。

資料に記載しておりませんが、落札額は1年間の行政財産の貸付料といたしまして、1,007万1,600円となりました。

今後、落札者と貸付け契約を締結いたしまして、資料2は、本年6月上旬のオープン予定と記載しておりますが、現在のところ6月中旬から下旬に

掛けてのオープンが見込まれますので、速やかに手続を進めてまいります。

以上でございます。

○渡辺ひであき委員長 お疲れさまでした。

何か質疑ございますか。

○太田せいいち委員 私の方から何点か質問させていただきたいと思います。

まず、たけのつカー&パークについて質問させていただきたいと思います。

私もぐるぐる博in竹の塚行かせていただいて大変なにぎわいで、今後に大いに期待するところでございます。

参加者の声で様々出ておりますが、参加者の声からも、地元の野菜のマルシェとかあればいい、若しくは定期的にやっていただきたいという声もあります。そういった中で、子ども食堂やってる団体から、是非この場を借りて定期的に野菜の販売活動をやられてるのですけれども、この場所を利用できればという声も上がってるようなのです。ただ課題になっているのが、定期的に利用したいという先方の御希望があるようなのですけれども、その辺やっぱり定期的な開催についてはちょっと難しい、考え方が違うということで考えていらっしゃるのでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 いろいろな方に使っていただきたいという目的がありますので、同じ方が定期的に頻度にはよるのですが、月に1回とかならまたちょっと考える余地はあるのですけれども、毎週この時間を抑えたいとなると、ちょっと要検討になるのかなと思います。

その点も7月末まではトライアル期間として、いろいろ試してみたいと思いますので、ちょっとスタッフと一緒に考えてみます。

○太田せいいち委員 分かりました。是非、よくコミュニケーションを取っていただいて、先方の意向も聞きながら、内容としてはよく御存じのとおり、地域貢献の活動として一生懸命やっていただ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いている内容ですので、受け入れられる内容であれば、前向きに御検討をお願いしたいなというふうに思います。

続きまして、防犯対策補助事業の実施についてなのですが、今年度、新年度というところで新しく始まりました。これについては、昨年度もちょっとお話しさせていただいたのですが、昨年度やはり予算が途中で切れてしまって、予算の付け替えとそれから補正予算ということで、3回の制度設計をして去年は実施されたということがありました。その都度、対象品目等区民に通知するのになかなか御苦労があったかなというふうに思います。

今回も予算なくなり次第終了という方針なのですが、まずこの予算額については、年間通じていけそうなのかどうなのか、その辺の感触をまずはお聞かせいただければと思います。

- 危機管理課長 当初予算の積算につきましては、庁内でいろいろ検討しまして、この金額になっております。

今年度の実績ベースでいきますと、やっぱり若干足りなくなるとは思いますけれども、より多くの方々に使ってもらえるような形で啓発していきたいと考えております。

- 太田せいいち委員 すみません、防犯対策、区としても大変力を入れてるところだというふうに思います。そのときの防犯状況にもよるかと思いますが、もし追加なり継続が必要だというふうに判断される場合には、適切なタイミングで補正予算を組むなどして、区民が継続して使えるような使いやすい運用にしていきたいと思いますというふうに思うのですが、その辺りいかがでしょうか。
- 危機管理課長 犯罪発生状況も鑑みながら、庁内でどのようなことができるのか検討してまいりたいと思います。
- 太田せいいち委員 よろしく申し上げます。

続きまして、ながら見守りについても簡単にち

よっと質問させていただきたいと思います。

まずこちら、ながら見守り、先ほどの資料で現在の登録者数の情報がなかったかというふうに思います。もし、登録者数が分かれば教えていただければと思います。

- 危機管理課長 大変失礼しました。登録者数につきましては、8ページ目、項番1の(10)の中で令和7年度5,7000名の登録者がいるというところでございます。

- 太田せいいち委員 すみません、見落とししました。申し訳ない。

5,700名ということですね。ここは今後、更に増やしていきたいという区の方針だというふうに考えてよろしいでしょうか。

- 危機管理課長 これは防犯アドバイザーの先生方にも御相談してはありますが、まずは、区民の1%ということで7,000人を目標に頑張っているところでございます。

- 太田せいいち委員 ありがとうございます。今後の方針で様々拡大、拡充するための取組、様々検討していただいているのを拝見しました。その上でいろいろな区の施策見ると似たようなものが幾つかあるかなというふうに考えております。

例えば、不法投棄通報協力員といったものもございます。こちら資料確認したところ4,360名の現在、登録者がいらっしゃいます。恐らく、両方に登録している方もいらっしゃると思いますし、片方だけという方もいらっしゃるかと思いますが、こういった方々に、もし片方だけならばお声掛けをしていくという方法もあるかなと思うのですが、その点いかがでしょうか。

- 危機管理課長 様々な区民で地域活動されてる方に登録いただいておりますので、区としましてビューティフル・ウィンドウズの一環ということで、より多くの方に登録いただくような形で働きかけをしてまいりたいと思います。

- 太田せいいち委員 ありがとうございます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

加えて、Aメールとか、LINEの登録者数も結構数万単位でいらっしゃるというふうに思いますので、そういったものも活用しながら、是非周知の方を更に広げていただきたいというふうに思います。

最後に、施設営繕の方でZEB認証取得について質問をさせていただきたいというふうに思います。

現在の取得状況が今回の資料で分かりました。今後について、もし目標があれば教えていただければと思います。

- 中部地区建設課長 ここに記載してるとおり、宮城小学校と千寿常東小学校の認定を取っていくというふうに考えております。

基本的には、新築する建物につきましては、ZEBの認証を取得していくという基本的な考えでございます。

- 太田せいいち委員 すみません。こちら環境の方の目標の方には、2050年CO<sub>2</sub>ゼロに向けて、公共施設における再エネ導入とZEB化を推進するというふうにあります。

他部署の目標ですけれども、長期の視点でZEB化を進めていくというのが区の方針として打ち出されています。長期的には数値目標あってもいいのかなと思うのですが、その辺りいかがでしょうか。

- 中部地区建設課長 なかなか数値化するというのは難しいものですから、基本的に繰り返しになりますけれども、建物の新築の際に、例えば大規模な改修で、スケルトンにして改修する場合には、やはりZEB化ということが可能かと思えます。

- 太田せいいち委員 すみません。今、正にちょっと質問しようと思ったのですけれども、大規模改修の際に、ZEB Readyの取得を進めている自治体もございますので、今後の方針に新たな施設を建設する際というふうにありましたが、大規模改修でも対象となり得る可能性はあると思

いますので、そこも含めて幅広に今後検討を是非進めていただければなというふうに思います。

またこれに付随して、省エネを推進する方策としては、こういったZEB Readyの認証取得に加えて、それ以外にもESCO事業の導入等も考えられるかなというふうに思うのですが、やはりその辺りについて、区の現状の考え方とか、取り組んでいるものがあれば教えていただければと思ったのですがいかがでしょうか。

- 中部地区建設課長 ちょっと勉強不足でESCO事業というものを、すみません認識しておりませんで、申し訳ございません。

- 太田せいいち委員 すみません、自分が前職空調設備事業者にいたもので、ESCO事業者もやって、エネマネ事業者もやってたりしたもので、その辺りまた今後、一緒に勉強させていただければなというふうに思いますので、今後の研究課題として、一緒に勉強させていただければなというふうに思いますので、是非よろしく願いいたします。

私からは以上です。

- はたの昭彦委員 おはようございます。ちょっと声あまり出ないので、簡単に何点か質問したいと。

まず最初に、区外から足立区に対するイメージ調査の結果についてということで、16ページの下の足立区の印象全体という表を見たときに、世間の評判ということで、どちらかといえば悪いというのが33.3%ということで、足立区は一般的に悪いイメージみたいなことで報道されることも結構あったりするんですけども、今回の僕、調査の結果をざっと見たときに大事だなと思ったのが、この自由記述抜粋というところが非常に大事だなと思ったんですね。というのも、よいというイメージに比べて、悪いという回答をした具体的な理由の方が圧倒的に少ないというところなんですよね。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

それで、具体的にこの悪いというふう感じた理由を見ていったりすると、北千住駅付近は明るいイメージがあるけれども、離れると雰囲気が悪いので、他のエリアも悪いのではないかと、根拠のあまりない話ですよ。夜歩くには怖い、治安が悪い印象が、これ印象であって具体的なものではない。あと足立区出身の著名人のエピソードが治安が悪い、これ多分、ビートたけしさんがかなり前に言ったことがいまだに残ってるんだと思うのだけれども、最近の足立区出身の芸能人の方は結構有名な方もいっぱいいらっしゃいますし、波瑠さんとか、結構女優の方でもいっぱいいらっしゃいますし、そういうところは、あんまりこう何ていうかな、見られていないと。治安がいいという話を聞かないからという話があるから、治安が悪いのではないかと。でも治安がいいという話はいくらもあちこちから湧き出てくる話でもないですから、これもどうなのかなと。

自転車や車のマナーがすごく悪いと言われても、道交法もありますし、自転車については4月から青切符導入で、これからのこともあるわけですし、生活環境の中では、23区の中でも家賃が低いいろいろな人々が住んでいるイメージ、どこのまちでもいろいろな人が住んでる当たり前であって、これがどうして悪いイメージなのかなと。

北千住駅周辺以外で街路灯などが少ないように感じて、少ないように感じて暗い印象が強いだろというんだけれども、私なんか印象すると、足立区はすごく明るいなど、足立区の近隣、草加とか八潮行けば、もういきなり暗くなるというのが私たち区民の実感だと思うんですよ。

そういう意味では、この悪いというイメージは、本当にだから印象でというイメージであって、もう全然根拠があまりないようなことでイメージを悪くという声が上がって行ってしまって、全体のイメージを悪くしていくということでしょう。

実際によいイメージを見ると、実際足立区の千

住来ると、非常にお店も多いし、若い人も多いということで、イメージアップにつながるということでしょう、やっぱりいかにいろいろなイベントやって区外の方に足立区に来てもらうかということが、今後足立区のイメージアップにとっては大事なのかなと思うのですが、それについてこの認識はいかがでしょうか。

○シティプロモーション課長 はたの委員おっしゃるように、実際に足立区に来ていただくイメージがよくなるというところがイメージ調査でも出ています。

まずそこを進めていくということと、もう1つ、とはいえ東京の西だったりとか、来る用事がなくて絶対来ない方たちはいると思うので、そういう方たちに向けては、やっぱり足立区のいい情報をメディアに載っけて見ていただくということで、今までそう知らなくて何となくイメージ悪いというところを払拭していこうというふう考えております。

○はたの昭彦委員 そういう意味では、今年度やっぱり、前年から千原ジュニアさんの、やっぱりイメージアップとか、かなりのSNSの見られたということでしょう、大きく貢献したのかなというふうに思います。

それとともに、この同じ表の子育てしやすさということでしょう、64.7%分らないということ、だけれども東京もそうですけれども、特に足立区なんかは、今年から入学準備金とか様々な部分で子育て支援ということでしょう、結構マスメディアなんかでいうと、流山とか、ああいうところが子育てしやすいということでも大きく取り上げられてますけれども。

例えば、保育園の送迎で言えば、駅から送迎してくれるとかといえば、確かにそうなのかもしれないけれども、でも逆に言うと保育園の数が少ないから送迎しないといけないということがあって、足立区は逆に保育園が多いから歩いて行け

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ると、自転車で行ける、近くにあるんですよということでは、そういう何ていうかな、やっぱり東京足立区というのは、近隣区から見ると非常に行政サービスも充実してますし、子育て支援も充実してるということを言うと、本当にこういったところを、広く積極的に広めていっていただきたいというふうに思うのですが、改めてどうでしょうか。

○シティプロモーション課長 今年度も区外に向けたシティプロモーションやっていく中で、子育てしやすいまちのイメージ形成というところは力を入れていきたいと思っております。

主に何の★★になるか、これから決めるのですが、広く訴求するような媒体を使ってPRしていきたいというふうに考えております。

○はたの昭彦委員 そういう意味では、今後の方針の中に、メディアの直接アプローチ、まちの魅力の更にあるけれども、やっぱりそういう行政サービスの魅力も積極的に是非発信していただきたいと思っております。要望したいと思っております。

次に、あやセンターぐるぐるについてですが、今後の方針のところ、あやセンターの新しい活動の担い手の発掘の場ということで、いろいろなやりたいを实践ということで、今まで足立区とつながりがなかった多くの人たちが、あやセンターぐるぐるを中心に会おうきっかけになるということでは、やっぱり活動の担い手の発掘というのは非常に大事だと思うんですね。

やっぱり、先ほど報告にもあったように、審議会委員が上限5つの審議会から3つということでは、そういう行政に関わってくれる。今まで関わってくれなかった人たちが行政に関わって、興味持ってもらおうということが大事だと思うんですね。

そういう意味では、こういったあやセンターぐるぐるのつながりで、地域活動の新たな人材の発掘ということにもやっぱりつなげていくことが、

SDGs 持続可能まちづくりにもつながると思うのですが、そういう視点というの、今後、つながりというの大事だと思うのですが、どうでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 はたの委員おっしゃるとおり、そういうつながりも必要だと思います。

でも入り口としては、まずやっぱり自分がやって楽しいとか、そういうことが大事ですので、まずはあやセンターでそういう気持ちを持って、まずは活動してみるというきっかけをあやセンターでつくります。

その次の活動の先として、外でもう既に行われている活動に参加するとか、自分で団体立ち上げるとか、行政の別の部署と関わってみるとか、そういう動きもありますので、そういうつながりを通じてもっとも活動が広がるようには力を入れていきたいと思っております。

○はたの昭彦委員 是非なかなか人材発掘という意味では、審議会委員で、若手の審議会委員になかなか若い人たちが集まらないとか、現役世代は、審議会の開催時間なんかもあるので、難しい部分もあるのだけれども、やっぱりそういった活動を通じて、行政に関わってもらって、行政の活動について興味を持ってもらおうということが大事だと思いますので、是非よろしくお願ひしたいと思います。

次に、資産活用部の、ちょっと分からなかったのですが、公共施設マネジメント推進委員会の開催の中で、公共施設の情報一元化の取組の中で、今回の調査と指定管理委託料に一部含まれてる維持管理に係る人件費と運営管理に係る人件費、明確に分かることができなかったとあるのですが、例えば一般的にこの指定管理の建物というのは、大規模改修とかでは区がやったりするわけですが、日常の小修繕とかに関わる人件費とか修繕費が、委託料、指定管理の委託料に含まれてるということはあるんだと思うのです。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

けれども、そのことを言ってるのでしょうか。

○資産活用部長 基本的には、はたの委員がおっしゃるとおりなのですけれども、その内容の額が、今回内訳等で出なかったので分かりづらかったというところを改善点としてさせていただいております。

○はたの昭彦委員 その上で、学校施設個別計画ということで、耐用年数評価の導入ということなのですけれども、学校施設更なる安心、長もちさせるとか、今回考える工事費だとか、人件費の高騰の中で、非常に大変な部分出てきていると思うのですけれども、具体的には長もちさせるための施策ということでいうと、どんなことを考えてるのでしょうか。

○資産活用部長 この学校施設の個別計画については、4月の16日の文教委員会で報告予定というふうに確認をしておりますので、その場で詳しく説明があると思いますけれども、基本的には学校施設を、コア抜き調査とかして、長寿命化することがどれぐらいできるだろうかという検討をさせていただいて、その取組についての御報告というふうになっております。

○はたの昭彦委員 要はコア抜きして、コンクリートがどれぐらい中性化してるかということ調べるとのことね。

以前だと、コンクリートの建物は寿命50年と言われてたのが、実は70年とか80年、ちゃんと管理していけばもつんだよという話で、私たち建設業界の皆さんと懇談する中で、特に塗装業の業界の方たちなんかでいうと、足立区の学校施設の塗装というのは非常に古い基準でということで、今の新しい塗料を使うと、もっと長もちするんだよという話を何回もいただいたりするのですけれども、そういう事業者に、どうやったらその回収頻度が長く延ばせるのかとか、長寿命化につながるのかということでの話合いというもの、意見を聞くということも大事だと思うのですけれども、改

めてどうでしょう。

○資産活用部長 はたの委員おっしゃるとおりでございますまして、例えば建設するときのインシヤルコストと、そのあとのランニングコストがあると思いますけれども、インシヤルが多少掛かってもランニングコストが安くなるような工法だとか材質というのも取り入れる必要があるのではないかなというふうに、我々の方でも思っておりますので、その辺の研究を営繕と一緒にやっていければと考えております。

○はたの昭彦委員 最後にですけれども、このイの改築保全工事の実施計画の交渉の中で、②に最新の学校施設規模適正配置の動向を反映するというふうにあるのですけれども、具体的な中身は、文教委員会の方の話だと思うのですけれども、例えばコア抜き、長寿命化の調査をしたときに、例えば今だと50年で老朽化してるのと子どもが減ってるということに合わせて、学校統廃合とか、統合を進めていこうということがあるのだけれども、例えば50年で老朽化、50年たってるけれども、実際に調査をしたら、いやこの建物まだ、もう20年ぐらいもちますよという話になったときに、資産活用の方として、教育委員会等に、いやこの躯体50年というけれども、もう20年ちゃんと持ちますよというようなことで意見を上げるとのことなんですかね。

それが具体的に、適正配置の計画が延びるということには、こちらの話になるわけではないけれども、そういう意見を上げるということで反映させていくということでもいいんですかね。

○資産活用部長 はたの委員おっしゃるとおりでございますまして、やはり庁内いろいろな意見交換をして、よりいい方向に進めていくというのが我々の仕事だと思っておりますので、そういった意味の中で情報をしっかり収集すること。それで、その情報をうまくまとめて庁内に発信することというのが必要だと思っております。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

そういうことの繰り返しを含めて、学校をどう  
いうふうに長寿命化して、更に予算を平準化して  
いくとか、そういう効果も今後出てきますので、  
その辺は随時研究をして成果を上げていきたいと  
考えております。

○はたの昭彦委員 特に★★の建設コストの上昇と  
いうのは予想を超えるような上昇率で、今後も、  
このイランとアメリカの状況だとか、石油の問題  
とかを考えると、收拾の見通しが立たない中で、  
やっぱりいかにコストを掛けていかないで施設を  
維持していくかというのは非常に大事だと思います  
ので、是非、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○渡辺ひであき委員長 他に。

○へんみ圭二委員 まず、シティプロモーションの  
件で、4ページに、足立区のイメージはよいと思  
う足立区外在住者の割合を、令和14年度までに  
5割へ高めていくとなっています。今回、別の報  
告で、令和7年度は26%という結果ですから、  
あと6年で倍高めなくちゃいけない、非常に高い  
ハードルかなと思ひます。

実際、令和7度は26%ですけれども、令和3  
年度は22%ですから、ここ四、五年で4%程度  
しか上がっていないということを考えると、本当  
に令和14年度までにどうやって50%まで上げ  
ていかなというところを、もう少し具体的に教  
えていただかないと大丈夫かなという気がするの  
ですが、年度ごとの指標設定などをされているの  
でしょうか。

○シティプロモーション課長 具体的に毎年これぐ  
らい上げていくという年度の設定は今しておりま  
せん。区内の区民の皆さんの誇りに思う割合を2  
人に1人が50%まで持つていくときに10年少  
し掛かったの、それと置き換えて、大体10年  
ぐらいで50%までいけばいいなというところで  
立てたのですけれども、へんみ委員おっしゃるよ  
うに、大分こう高い壁だとは思ひております。

でも徐々に足立区のイメージが変わってきて、

今考えてるのは足立区のイメージいいと思ひてく  
ださってる方が、今度推奨してくださる足立区  
のイメージいいよというのをまた言ってくださる  
ということで、このプラスのスパイラルをつくっ  
ていくというところで、具体的な数値申し上げられ  
なくて申し訳ないのですけれども、50%に近づ  
いていけるように頑張りたいと思ひております。

○へんみ圭二委員 15ページ見ますと、例えば令  
和4年度が24%でしたけれども、令和5年度は  
20.7%に下がってる。この下がった要因なん  
かも分析した上で、これからの方針を立ててい  
くべきかなと思ひますが、その辺りはどのような  
お考えですか。

○シティプロモーション課長 毎年このイメージ調  
査は12月に行っております。その前に大きな、  
例えば、事件があったりですとか、そういうと  
ころでイメージが下がるということもあります  
ので、年間通じて何のニュースが足立区で流れたか  
ということもございまして、日々のニーズを  
しっかりと分析しながら、イメージ上げていき  
たいというふうに考えております。

○へんみ圭二委員 やっぱりあと6年で倍に上げる  
というのは、本当に大丈夫かなと思ひるので、例  
えば、3年後にはどれぐらいまでどうやって上げ  
ていかなという、このロードマップというかプロ  
セスをもう少し綿密につくっていただいて、議  
会とも示していただいた上で議論していくとい  
うのが必要かなと思ひますので、その辺りは  
また、今後、方針というものをもう少し具  
体的に示していただきたいと思ひます。

足立区の印象としてやはり治安のよさという  
のが、悪いが50%を超えているということ  
ですから、ここを改善していく必要性とい  
うのはやっぱりあるんだろうなとい  
うことを考えると、危機管理部で今  
回いろいろと提出をされました。  
情報連絡でも、この認知件数の結果  
が出ていまして、これ見ていると、  
例えば、非侵入窃盗が598件、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

非常に多いという状況です。非侵入窃盗のうちの半分ぐらいは自転車窃盗ということなのですが、これ残りの半分はどういった犯罪が多いのでしょうか。

- 犯罪抑止担当課長 本年におきましては、万引きとオートバイ盗、これに尽きるというところがございます。
- へんみ圭二委員 今年度の対策として、オートバイ盗の対策としても、チェーンロックですとかいろいろやられてますけれども、この万引きの対策というのは何か打たれてるのですか。
- 犯罪防止担当課長 幾つかございまして、1つは、犯人に向けて万引きは犯罪ですよというチラシをラミネート加工して、それを協力いただいている店舗に対して、事前に買物籠の中にチラシを入れておきまして、それを見ていただいて、ちゅうちょさせるという取組をやっているのと、あと万引き防止対策費用補助金というものが500万円年度で取っておりますけれども、被害の多い店舗に対してA Iカメラ、これの導入の働きかけをしております、昨年度につきましては2件の店舗で導入していただいたという経緯がございます。
- へんみ圭二委員 多分万引きが犯罪だというのは万引きする人も分かっているといますから、それだけではなくて、例えばA Iカメラ導入して、しっかりとチェックしてますよということを示さないと、なかなかちゅうちょするところにつながらないのかなというふうに思うのですが、その辺りはどうなのでしょう。
- 犯罪抑止担当課長 今へんみ委員のおっしゃるとおり、そういった部分におきましても、例えば常習で万引き犯人が来てる人を各店舗で共有できないかですとか、そういった今検討をしているところがございますので、あらゆる方法を使って被害が減少するように、今検討しているところでございます。
- へんみ圭二委員 分かりました。

ちなみにその万引きする犯人というのは、大体年齢層というのは分かっているのでしょうか。もし分かっているのであれば、例えば高校生が多いのであればカギかけキャンペーンと同じように、その年代層に直接働きかけるというような取組も必要かなと思います。

- 犯罪抑止担当課長 全ての統計を取っているわけではございませんけれども、昨年竹の塚警察署の方から聞いた話では、10代と70代、80代で約7割を占めているというお話を聞いております。
- へんみ圭二委員 であれば、やはり10代向けの万引き対策、それから高齢者向けの万引き対策両建てでしっかりやっていくということが、この数字から見ても必要かなと思いますので、その点も、関係所管と連絡、連携をして、しっかり取り組んでいただきたいと思います。

それからあとは、ぐるぐるについてです。

受託事業者の評価委員会についてなのですが、区の管理職3名と外部アドバイザー2名ということで、これだけ抱えていて、誰が参加して評価しているのかというのが、こちらから見えないのですが、その辺りはしっかりと示す必要があるのかなと思いますが、いかがですか。

- SDGs・協創推進課長 すみません、管理職の名前とかということでしょうか。
- へんみ圭二委員 外部アドバイザーも含めて。
- SDGs・協創推進課長 外部アドバイザーの肩書でしょうか。ちょっとそちらの私ちょっと判断しかねますので、ちょっと上の者と相談して、また御報告いたします。
- へんみ圭二委員 なぜそういうことを申し上げるのかといいますと、26ページのこの集計表を見ますと、区の管理職の皆さんは90点以上になっていますが、外部アドバイザーの方は76点と84点ですから、これ合わせると、平均して80点ぎりぎりの点数なのかなという気がします。
- ですから外部の方々から見ると非常に厳しい点

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

数が付けられているということを考えると、やはり区の職員の皆さんが、申し訳ないですけどもちょっと甘い評価になっているのではないかなという感じる部分もあります。その点について、外部アドバイザーの方たちから具体的にどのようなお話があったのかというのを、もう少しお聞かせいただけますか。

○SDGs・協創推進担当課長 外部アドバイザーの2名からは、昨年よりは着実によくなっているという評価をいただいております。なので期待を込めても、よりもっと具体的にということで、例えば子どもというものを一くりにするのではなく、小学生なのか中学生なのか高校生なのかと、もうちょっと細分化して、その取組を取り組んでいってほしいという意見はいただいております。

○へんみ圭二委員 私も地元ですから、非常にこのぐるぐるも思い入れがありますし、使わせていただいたことありますから、どんどんどんどんよくなっていたきたいという思いはあるのですが、やはり地域の方々から、いまだに、あそこは何やる場所なのということと言われることが多いものですから、そこら辺をしっかりと周知していく必要があるのではないかなと思います。

そうした上で、今度ぐるぐるKIOSKも、今度4月24日に開催されるということですが、これも町会の掲示板なんかに貼られていないですし、多分知ってる人というのはあんまりいないのではないかなと思うんですよね。

これ周知しないというのは、例えば、たまたま通り掛かった人たちを対象にして、何かこうモニタリングをするというのであればいいのですけれども、地域でイベントやるのであれば、もっとも周知する必要があるのかなと個人的には思うのですが、その辺りどのようなお考えでやられるんですか。

○SDGs・協創推進課長 町会・自治会とか、まちづくり協議会には、適したタイミングでKIO

SKは行いますとは御報告させていただいております。

町会の掲示板に関しては、現在KIOSKはちょっと使っておりません。区としての広報は基本的なものはやっておりますが、ちょっとそれ以上の広報をどうしていくかというのは、KIOSKは住民主体ということを今後力入れていきたいので、そういう参加者の方とも意見交換しながらどの方法がいいのかは模索していきます。

○へんみ圭二委員 参加者の方々があんまり周知しないでくれというのであればそれでいいのですけれども。例えば、これは全庁的な話になるのですが、町会・自治会の町会長には話しているのかもしれませんが、例えば町会長に話をしたとて、町会の方々には全く広がらないということが多いですから、そこは周知の仕方として、町会・自治会の連合会に行って話をしましただけでは、やはり周知というのは全然全く足りないということを感じますから、その点については周知の仕方、もう少し考えていくべきではないかなと思います。

それともう1つ竹の塚について、このぐるぐる博私も伺わせていただきました。ちょっと場所として暗いのかなという気もしたのですが、例えば照明を付けるということについてはいかがなんでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 高架にライトを付けるとなれば、ちょっと東武鉄道の方には確認は必要となります。

現在、スタンドライトを何台か購入して、そこでちょっと光は担保しようかなと思っておるのですが、もう少しちょっと様子を見ていきたいと考えてます。

○へんみ圭二委員 あれだけ天気のいい日で、日中で、それでもちょっと暗いかなという感じがしましたから、あれ曇ったり、天気悪かったりするともっと暗くなるでしょうし、夕方にいろいろ使ったりすることを考えると、照明がしっかりあ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

てもいいのかなという気はしました。

それとあともう1点、このたけのつカー&パークは、動物はどうなのでしょうか、入れるのでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 こちらもトライアル期間のときで試してみたいのですが、まずイベントに関しては、動物は受け入れていこうと考えております。放し飼いではなくて、抱きかかえるとか、そういうちょっと条件はあるのですが、キッチンもありますので、ちょっと衛生面も加味して日常的にどうしていくかというのはちょっと今後様子を見ます。

○へんみ圭二委員 例えば保護猫の譲渡会などを開催したらいいのではないかなということも感じるのですが、そういう利用は、屋外のところに、保護猫に来てもらってということは可能ということですか。

○SDGs・協創推進課長 現状、保護猫のイベントはやっては駄目という規定はないので、まず相談してもらってからになります。

○岡安たかし委員 私も何点か、順に聞きたいと思います。

まず、政策経営の3ページのシティプロモーションなのですが、千住宿開宿400年を機にこれやりまして、半年強ですか、2,000万円掛けて、実施、その次の実施結果のところ、この5ページですか。分析で、広告としては、説明では9.6億円、約10億円換算の広告費用が効果があったと。実際に掛けてるのが2,000万円もないですから概算費用で、かなりの効果なんだろうなど。

ただその効果というのが、計算式があるとは言っていましたけれども、よく分からないのですが、というのが、これやっぱり千住はいいと思うんです。これ説明のときにも私、言いましたけれども、千住以外の地域にも、例えば綾瀬だと★★とかいろいろやってくれたのですが、私が住んでるのは

青井ですけれども、青井の方とか、千住宿の400年知ってますよ、開宿400年。でもその盛り上がりというのは全然伝わってないし、何か買物行くときは千住行ったり、友達がいるからとか、そういう人は、そこに行って何か触れ合ったのかもしれないが、あんまり縁のない人は別に開宿400年で、何か千住盛り上がってそうだから行こうという気になってないんですよ。むしろ知らない人もいっぱいいますしね。

あのと時も言いましたけれども、これは綾瀬だけではなく、西新井、竹ノ塚、4主要駅と言いますけれども、千住以外のところが、これどれだけ盛り上がって、どれだけこの効果があったのかなというところとちょっと疑問だなと、もちろん千住は足立区の顔ですから、そこが盛り上がることによって、足立のイメージアップにつながるのかもしれませんが。だけれども、千住は顔、でも体全体が足立区だとすれば、手も足も体もあるわけで、顔だけがピックアップされても、手足体に全然目向いてなければ、やっぱり千住はいいねと。だけれども、綾瀬は何、竹の塚何やってんのという来街者がいっぱいいるのではないかなと思うんですね。

テレビなんかでも、今やたらと千住は取り上げられてます。変な言い方をすればほっといても千住はどんどんどんどん盛り上がるのではないかなと私は思ってるぐらいなんです。有吉さんなんかも来てるし、いろいろな番組の御用達がありますよね。医者とか八百屋とか、★★さんとか、何チャンネルか知らないけれども、そこばかり出るみたいな、最近千住結構出るんですね、二階のペDESTリアンデッキのところインタビューする。よく出てるんですよ。何チャンネルかは分からないけれども、やっぱりそういうのにつながっていくのでしょうか。そして、そういういろんなバラエティー番組にも出て、この前何とか散歩にも出てましたね、千住エリアが。なかなかこれ綾瀬とか竹の塚とか西新井に結び付いてないなあと

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

という気がします。

そういう意味では、千住宿もあったし、千住はすごい盛り上がってるし、もともとそういうテレビ効果もあるしいのですけれども、ほかのエリアに対して、やはりこの次のイメージ調査にも関わる話ですが、ほかのエリアもしっかり盛り上げていくという今後の展開、その辺はどう考えているか教えてください。

○シティプロモーション課長 去年は千住を集中してプロモーションしましたが、その理由の1つが千住が盛り上がることで、ほかの足立区内の地域にも目が向くというところを狙っています。今年は、西新井大師建って1200年になりますし、そういったニュースがごぞいます。そういうところはしっかり機を捉えてメディアに売り込みをしていきたいというところと。

あとあれですね。昨年、千住に力を入れたことで、今年の秋に発行されますけれども、地球の歩き方の足立区版というところの発行にもつながっておりますので、地球の歩き方の足立区版は、足立区の全てのエリアをくまなく御紹介するというところで、今取材協力の方をしておりますが、そういったいろいろな手法を使いながら、足立区のいろいろな地域の魅力が伝わっていくように進めていきたいと考えております。

○岡安たかし委員 そうですね、総務委員会のこのイメージ調査の22ページのところの、今年度はメディアの直接アプローチを強化するとありますが、今後の方針と。やっぱりメディアはすごいやっぱりテレビとか、すごい大きいと思います。特にテレビかな、大きいんだと思うんですね。若い人もそういうバラエティー番組を通じて来る人も多いですし、有吉さんが行った、紹介したあのお店行こうと行って行くとかね。やっぱりそういうのを考えると、千住以外のまちに、どんどんPRして、是非こっちにもこういういい店あるから、何か番組やってくれませんかとか宣伝してほし

いなと思います。

次、ぐるぐるなのですけれども、今更ですけれども、このあやセンターぐるぐる、これ私応援してます、当然。最初これ何だろう、どうなるものかなと思ってずっと見守って、区としては、ここまで成功事例だというふうに判断してると思うし、私もこれいいと思います。ここまで本当に区民の皆さん巻き込んで。

ただやっぱり、さっきへんみ委員も言ってましたけれども、まだまだ分かってない人分かってないし、何だろうねこれという人もいるし、何と言ったらいいのでしょうかね。この本来のコンセプトというのがどこにあるのかというのが、なかなかこの見失いがちなだという気もするんです。我々議員としても。

特にぐるぐるKIOSKなんかもっとそうなんですよね。前やったときなんか店舗も、今回も10店舗ですか。盆踊りのテキ屋さんの方が多いなぐらいな感じで、一般区民としては、そこ行って、飲食店とかいっぱい屋台があつてと期待したら、あれなんかキッチンカー3台に、物販とかが7つで終わっちゃった。これお祭り何だろうぐらいに、知らない人はそれで終わっちゃうんですね。

やっぱりしっかりコンセプトを理解してもらいながら、そこに来ると人も楽しんでもらったり、こういうのをやってる取組を応援してねというのは大事だと思うんですけれども。その辺ちょっとどうなんですかね、ただ単にぱっとう寄って帰る人は、ある意味がっかりする人もいると思うので、もうちょっとこういうことやってるこのKIOSKなんですよというの分かるような、そんな仕組みというか、何か大きな看板を最初にばんとつくとか、チラシを配るとか、そういうの大事だと思うのですけれどもいかがでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 KIOSKに関しましては、東綾瀬公園とハト広場と交通広場の間の区の管理道路を使用しておるためスペース上10店

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

舗ぐらいが最大となっております。

周知に関しまして、K I O S Kのコンセプトはまだまだ1回しかやったことないということもありますので、そこは伝わるように看板含め、ちょっと検討していきます。

○岡安たかし委員 これくれぐれも誤解のないように言いますけれども、私はこれ後ろ向きではなくて応援したいんですね。だからこそ、もっともっと区民の皆さん、あるいは来街者が、いい取組ですねと思ってもらえるようにしてもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。

さっき言ったぐるぐる、ちょっと分かりづらいというのはあるんですね区民全体としても、何かこうぐるぐるニュースみたいのを定期的につくって配布するとかというのを今やってるのですか。

○SDGs・協創推進課長 ぐるぐるニュースのような配布物は現状しておりませんが、年に1回感謝祭というところでは新聞記事をつくって、来場者の方には配付しております。

あと基本はInstagramでの情報発信が主流となっております。

○岡安たかし委員 やっぱなんか紙の配布物でもそういうのをやった方が、それは毎月とは言わないですけども、三、四か月に一遍とか、例えば綾瀬だったら西口、東口でちょっと配るとか、大事なのではないかなと思うので、またこれも検討よろしくお願いします。

次に、危機管理なのですが、ながら見守りに関しては、我が党はずっとこれ応援してきました。ながら見守りの9ページに、拡充する取組として、登録者による意見交換会の開催とか、ながら見守りセミナーの開催というのがあります。

このながら見守りは、意識している人と、していない人がいると思うのですが、取りあえず登録というところで、登録者を意識してるのかもしれないのですが、ごめんなさいちょっと前後するけれども5,700名はこれ累計ですか。

○危機管理課長 延べ人数でございます。

○岡安たかし委員 もっと多いただろうかと、実際ながら見守りをやってるぞと意識してる人まで入ると多いと思うんです。実際にうちの町会でも犬の散歩をやって、ほうきとちり取り持ちながら犬の散歩やってるんです。それ、犬の排せつ物のあれだと思ったら、いや掃いてるんですよと言う、ビニール袋持って、ちょっと大きなごみも一緒に掃きながらやってるんだと。ついでに、やっぱり子どもたちのことなんかも見たりしてるんですねというね。

ながら見守りのあれですよねといったら、何ですかそれはみたい、知らない人いる。本人意識しないでながら見守りやってる人もいるんだろうかと。ながら見守りの何かこのさっき言ったセミナーとか、そういうお堅いではなくて、もっとこう軽い集いみたいのやった方がいいのではないかなと思うんですよ。ながら見守りは、もっと軽くみんな入ってもらって、みんなやりましょうという形で、だからこそながら見守りフェスタではないけれども、もっと軽いタッチで、セミナーとか言うと、みんな堅くなっちゃうので。

もう、さっき言ったぐるぐるK I O S Kではないですけども、ちょっとながら見守りK I O S Kみたいな、もっと軽いものを何か考えたらどうなのかなと思うのですが、この辺どうですか見解として。

○危機管理課長 登録されてなくて様々な地域活動されている方も大勢いらっしゃるかと思いますので、今御提案のあったことも含めて、どんなことができるのか検討してまいりたいと思います。

○岡安たかし委員 特に私、わんわんパトロールの方とはよく接触してるのですが、本当に意識持ってやってくれてます。自分たちがもうまちを守るんだぐらいの気持ちでやってる人も多いので、よろしくお願いしますと思います。

次に、防犯の物品なのですが、2ページに、防

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

犯事業の実施の方向性というやつですよ。この防犯カメラ、都の補助がなくなったから1万円、区民としては負担が増えてしまうということなのですが、都がこれ1万円減らしたのもいかなものかとあるのですけれども、ただ区民からすれば都も区も関係なく、何か1万円負担が増えちゃうねという、そこしか残らないんですよ。区で単独でここを補填するという考え方はなかったのでしょうか。また今後もないのでしょうか。

○危機管理課長 これにつきましても、当初予算計上の際には、全庁でいろいろ検討したのですけれども、今回はこういった結果になったという状況でございます。

○岡安たかし委員 是非ここは考えてほしいなと。1万円が無理なら5,000円でもいいし、やっぱり区民としては1万円の負担大きいですよ。増えちゃうという、やっぱり負担が、比べちゃいますから、そなく付いた人と、例えばお隣さんだったら、あれ私の時そんな負担ではなかったよとなっちゃうので、是非、いやそれは東京都がなくしたからですよなんて、そんな理由は頭に残りませんから。また理解できませんから。是非よろしくお願ひしたいなと思います。

最後に、本庁舎の地下駐車場運用システム、これはプラスの方向でいい方向にいく話なのですが、区民サービス向上を図るためというのですけれども、ちょっとこの何が区民サービス向上につながるのかというのを確認したいのですけれども。

これはあれですか、事前精算ができることと、クレカや電子決済サービスが使える。この2点で向上ということなのですかね。

○庁舎管理課長 岡安委員おっしゃるとおり、新貨幣、クレジットカード、電子決済が使えるようになることと、あと今まで無料の駐車券をお渡ししてカードを2枚お持ちいただいてたような状況でしたが、これからは刻印機で刻印されるのが、カードが1枚で済むというところが、利便性の向上

につながると考えております。

○岡安たかし委員 向上につながるならいいので、ちょっと、またしばらく実施してアンケートを取るなり、その辺も、区民の利便性向上につながるか意見聞くのも大事なと思いますので、よろしくお願ひしたいなと思います。

あと、情報連絡は最後か、一旦これで。

○中部地区建設課長 先ほどの利便性向上なのですが、少しでも、少しもう1点違う視点からいきますと、駐車場の出入口が今結構混雑しておりまして、車番認証システムを入れることによって、出入りがスムーズになるということも、スムーズになることはサービスにつながりますし、やはりかなり料金を支払うことでトラブルも発生しておりますので、そういう点からもサービスが向上すると思っております。

○伊藤のぶゆき委員 私から、ちょっとシティプロモーション、まずはシティプロモーションから聞きたいのですけれども、吉本興業と提携をして、2,000万円ぐらいの予算でYouTubeもよく回ったということで、すばらしい結果だと思いますけれども。今回、この吉本興業と組んで、多分千原ジュニアさんのYouTubeが85万回ぐらい再生したと思うのですけれども、この経験というか、足立区として踏まえて、今回のシティプロモーションとして、今後要するにいろいろ、どういうふうな今回の吉本興業がいろいろやってくれたりとか、いろいろなことを提携して情報連絡してやった中で、今後シティプロモーション課として学んだことと、今後どういったものを新しくやっていこうかなと思っておりますか。

○シティプロモーション課長 区外プロモーションでは、いろいろな手法、ユーチューバーの活用でしたりとか、SNSの活用というところをいろいろこの2年間勉強させていただいております。

やはりスポットで著名な方を使うというところこの瞬間風速的な認知度を高めるというところ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

でしたりとか、そういう効果もよく分かりましたので、これからの100周年に向けて、50%までまたイメージも上げていかないといけないので、いろいろな手法をクロスさせながら、足立区のよさが外にしっかり発信されるようにつなげていきたいというふうに考えております。

○伊藤のぶゆき委員 へんみ委員、岡安委員もおっしゃってましたけれども、要は、千住だけスポット当たってもしょうがないと、これは僕もそう思います。私たちは、よく千住の人たちは、私たちのこと★★と言うのですけれども。これ千住の人しか言わないんですよ不思議なことに。やっぱり千住の人たちと、足立区全体の人たちのイメージは結構かけ離れてるんですよ。

なので、千住が400周年ですと言われて、電車乗るから千住通りますけれども、買物も行きませけれども、どれだけの足立区民の方々が千住宿400周年に興味を持ったのかということに関すると、やっぱり少し疑問が思うこともあります。

ちょっと気になったのは、今回、千原ジュニアさんがYouTube回しました。85万回再生で、千原ジュニアさんのYouTubeを見ると回ってる方だと思うんですよ。ネタとしては、要するにちょっとアングラネタとかすごい回りますけれども、やっぱりポップなまちを紹介する飲食とか食べ物という意味では、結構よく回った、大体10万回とか20万回ぐらいはしか回ってないのに、千住が85万回再生してるっていうことで、今回ちょっとそれで気になったのが、舎人の千本桜まつりは、足立区は何か動画とか発信したんですかね。

○工藤副区長 ドローン撮影のものをPRはいたしました。

○伊藤のぶゆき委員 せめて今回、吉本さんでいろいろ学んだということがあったら、動画d e あだち見ると、一生懸命やってます外国人に対する案内がバーッと並んでくるんですけども、

千本桜のことは一切出てこないで、せっかくだったら1万2,000人ぐらい登録している動画でも、今後、千住だけではなくて、足立区の大きなイベントなので、そういったことで周知をすればいいのかなと思うのですけれども。

あともう1点、費用対効果として300万円ぐらいで、7億円ぐらいの効果があったということで、これはもういろいろな委員からも言ってるのですけれども、当然足立区に縁のあるユーチューバーで、それなりの登録者数がいる方がいらっしゃるのですから、その方たち、多分300万円も200万円も要求されないと思うんですよ。そういった方々に少しお願いをして、例えば千本桜まつりのお店を回ってもらうとかとすれば、要は、どこに、舎人公園に行くということは結構なかなかの労力だと思うんですよ。

我々も車で行くとも止められない。行くには日暮里・舎人ライナーから行くしかない。でも、そこで何がやってて、どんなものがあるか分からなければ、あそこに行ってみようという発想にやっぱならないじゃないですか。でもやっぱりその動画で、こういう人たちは、こういう何かテントがあるんだなと思ったら、多分行ききかけにもなるので、舎人だけではなくて、そういったものも、せっかく今回学んだことがあるんだったら、やっていってもらいたいと思うのは要望で、あと1点。

西新井大師が1200年ということで、今年アピールしていきたいということですが、西新井大師は協力的なんですか。

○シティプロモーション課長 すみません、私も聞いた話にはなるのですけれども、お寺さんの方は粛々と年間の行事あるということでお進めになれるというお話は聞いております。

○伊藤のぶゆき委員 そうなると、向こうは粛々としてやりたいとなって、足立区が1200年だから盛り上げましょうよという、結構その温度差

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

が出てきてしまうので、やっぱり足立区で一番有名なところというアンケートを取ると、西新井大師なので、それはもう西新井大師さんたちの気持ちもあるのかもしれませんが、どうにか足立区の盛り上げに一役買ってもらえるように、改めてお願いをしてもらいたいと思います。それはそれで★★なんですけれども。

続いて、刑法犯認知件数の件で、ちょっと私の方も聞きたいのですけれども、へんみ委員が一通り私、聞いてほしいことがあったので聞きたいのですけれども、万引きが増えてると、あとはオートバイ盗が増えてるといいますかね。これは、何かさっき言った10代の万引き、70代、80代が多いとなると、70代はイメージですよイメージは、何かテレビとかでよく見るんですけれども、やっぱり世間的に不景気になってくると高齢者の万引きが増えるみたいなイメージがあるので、そういうものとは特に関連してるわけではないですか。

- 犯罪抑止担当課長 去年聞いた話で、竹の塚の話では70代、80代、10代という形は聞いてるので、これは推測によりますけれども、今伊藤委員のおっしゃったとおり、全く関係がないかと言われますと、多少はやっぱり関係をしてきているのかなというふうには推測しております。
- 伊藤のぶゆき委員 あともう1点、犯罪増えてますけれども、比率としてこれ外国人の犯罪の比率は増えていない、そんなに。
- 犯罪抑止担当課長 去年一応警視庁の本部から聞いておりますけれども、日本人と外国人の犯罪を犯してる割合というのはほぼ変わってないというふうに私の方で認識しております。
- 伊藤のぶゆき委員 では最後にします。

自転車盗が増えてきたということで、またどういった方が自転車を捕ってるかという、ちょっと私分からないのですけれども、岡安委員からも言いましたけれども、防犯カメラ、多分足立区23

区で一番足立区で防犯カメラ付いてますとうたってるといことは、それなりに行政として力入れてるじゃないですか。そうなってくると、やっぱりなかなか区民の方々の御協力もなければできないということで、例えばですけれども、大体75%ぐらいは補助出すじゃないですか。さっきの防犯カメラの件ではないんですけれども、これ1年間ぐらい、防犯抑止担当課長だけの判断ではできないのですけれども、思い切って鍵、鍵の種類にもよるのでしょうけれども、100%補助して、逆にうたってみたらどうなのかなと思うんですよ。

要は、足立区は自転車盗が圧倒的に多いんだと、ですので、その自転車盗をなくすために、1人1台持つてるかどうかわからないのですけれども、要するにもう鍵を完全に補助します。補助金★★付けてくれという話で、もうそれも1年間限定ですよ。それでみんなで下げましょうみたいな、要するに何か今までも補助を出しています。ツーチャリロックしてます、何か籠掛けてますと。

今皆さんがやってることは別に否定はしないのですけれども、何かここでもう1点、何か大きくぼんと転換してみて、すごくそれで多分補助金が大幅に増えるということは少し考えにくいと思うので、何百万というお金は出ていくでしょうけれども1,000万円、2,000万円という費用は出ないということを考えると、意識付けと、大きな転換として、何か区民の皆様から見たら、足立区、ここまで★★してくれてんの、それだけ自転車捕られてるのみたいなイメージをボーンと打つような施策をやってみたらどうなのかなと思うのですけれども、いかがですかね。

- 危機管理部長 今の御意見につきましては受け止めさせていただきたいと思います。

この自転車盗については、やっぱり鍵を掛けて、そもそも掛けない人がいらっしゃるといのがちょっと課題で、あと例えば駅前の駐輪場なんか何ですか、ガチャンとやってロック掛かって、だけ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

れども自分の鍵は掛けないというような人がいて、それが何ですかね100円入れて持っていかれちゃうというケースもあるということなんですね。

なので、鍵をただにするから付けてくれと言って、おっしゃるとおり、どのぐらい付けてくれるのかというのが、ちょっと我々ちょっと今のところ読めてないというところ、だから、そういうものに申請をしていただかない人たちの意識をどうやって高めるのかと、これまでもずっとやってきて、意識が高まらないのだとするならば、やっぱりほかの方法を考えなければいけないんだと私も思ってます。

その方法としては、もう本当にカメラで絶対捕まりますよというふうにするだとか、何かそういうことを打ち出していかないと、もう多分止まらないのではないかとというふうに考えております。いずれにしても、いろいろな何ていうかハレーションとかもあると思うので、カメラなんかもそうですし、お金のことも予算のこともございますので、ちょっといろいろ研究しながら、少しずつちょっと進めていきたいのですけれども、本音としては、何ですかドラスチックにちょっと変えていきたいという思いはあります。

○工藤副区長 若干補足させていただきますけれども、竹の塚の有識者会議の中で、専門家の方からの意見で、例えば立体にすると入れないので、盗まれないよですとか、あと実際に千住でもゲート式のものについてはほとんど盗難されてないんですね。そういった仕組みを変えていくということも、非常に対策で重要だなと思いますので、例えば単純に今はガチャとはめてというようなシステムですけれども、それをゲート式に変えていくというところ少しお金が掛かりますけれども、そういったことの方がむしろ効果があるのではないかなというふうには、そういったことをちょっと進めていきたいなと思います。

○川村みこと委員 初めに、ぐるぐるKIOSKに

ついて確認させていただきます。

これ、25日前後の金曜日の夜で設定しているということで、定期的開催を印象づけるということなのですが、これ他の委員の皆様からお話出ましたけれども、出店する方々は、3か月に1回25日前後の金曜日かということで印象づけることはできるかなと思うのですけれども、やっぱりまちを通っていらっしゃる方は、やっぱり3か月に1回の金曜日だと、なかなか印象づけるというのは難しい部分もあるんだろうなというふうに思っております。

その辺り参加者の方ではなく、通行人の方に印象づけていくというところについては、どのような方向で考えておりますでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 当日会場にゲートとして、交流スペースを設けてます。そこで利用者とか来場者の方の声は聞いていきたいと考えております。

○川村みこと委員 分かりました。やっぱり区民の方々が印象づけて、区民の方々に位置づけてもらって、ここに来たら楽しそうなことがあるというのはやっぱり分かってもらえるようにならないといけないなというふうに思います。

これは他の委員の皆さんからも出ましたけれども、やはりチラシとかの周知が必要だと思っていて、参加者の方が主体的に自ら運営するというふうな特性から考えると、区が全部入っていく必要はないと思うのですけれども、例えばぐるぐる博の北綾瀬では、参加者の方が出店者の方々が自らチラシを自費で印刷してポスティングしたりとか、そういうこともされてきました。

でも予算のあらましによると、ぐるぐるKIOSKが年6回を目標としていて、そういったことを考えると、なかなか自分たちで全部チラシも印刷してくださいというふうな話になると、持続可能ではないなというふうには思います。

例えば、区でチラシの印刷代とか、何か小さな

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

周知カードでもいいかと思うのですが、そういうぐるぐるKIOSKを宣伝するようなものをつくって、そこから先は是非参加者の方に来てもらうとか、そういう仕組みづくりについてはいかがでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 現在KIOSK、リーフレットは作っております。出店者の方に30部ずつお渡しして御自身でお配りくださいということと、リーフのデータをお渡ししますので御自身のSNSで発信してくださいという御協力は、お願いしているところです。川村委員の考えも受けてちょっと一度検討します。

○川村みこと委員 分かりました、ありがとうございます。是非30部、今配っていただけるということでしたけれども、本当に北綾瀬のぐるぐる博の時は大量に皆さん頑張ってポスティングをして回っていて、そういうふうに皆さんやりたい気持ちは多分あるんだと思いますので、是非そこを区がサポートしていくというところをお願いしたいと思います。

上記日程以外にも希望者がいれば開催を検討するということなのですが、これは具体的にどういうふうに要望を聞いて、どういうスケジュール感でやっていく予定なのでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 まだ具体的に決まっているわけではないのですが、そのKIOSKに出てみたいよというニーズが増えてきましたら、ちょっと検討していきたいと考えております。

現状まだKIOSK自体はあんまり周知はできていないので、まだ出たいという声は、そこまではないのですが、今後出た場合に、日程調整して開催を検討していくという流れは取りたいと考えてます。

○川村みこと委員 分かりました。

このぐるぐるKIOSKが、やっぱり周知があまり広がっていないので、このぐるぐるKIOSKに出たいという声は確かにあまりないのかもしれない

りないですが、一方で、公園とかで簡単な本当に短時間のマルシェみたいなものをやってみたくか、そういう声は本当にたくさんあるなどというふうには感じています。ですので、そこをうまくマッチングしていくのが大事なかなというふうに思うのですが。

このぐるぐるKIOSKはあやセンターとか未来会議とか、ぐるぐる博の次のステップでというふうに位置づけてはいるものの、こういった例えば時間帯だったとか、こういうふうな簡易なものだったら出られるという人も逆にいると思いますので、そこを取り組んでいくことも必要なのではないかなというふうに思います。そのあたりについてはいかがでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 川村委員おっしゃるとおりだと思います。まだ1回しかやってない、次2回目ということなので、まずは今現状の形でちょっと形をつくっていききたいという思いはあります。今後もう少し気軽な、これなら参加できるよという幅広い人たちも受け入れるという体制を考えていきます。

○川村みこと委員 分かりました。是非よろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、ながら見守りについて伺います。様々な場所で周知を広げていただいている、ありがたく思っております。絆のあんしんネットワーク連絡会にて、参加者に周知を行ったということなのですが、これ会場によってかなり登録の割合に差があるかと思ひます。これは、実際は、先にもう登録、既に登録してる方もいらっしやったからではないかなというふうに思うのですが、ちょっと先に登録して、既に登録していた方の割合がちょっと分からないので、実際登録してない方で、この場で登録して下さった、これを機に登録して下さった方はどのぐらいの割合だったのか教えて下さい。

○危機管理課長 表記すみません、こちらは参加者

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

名と登録者名、登録者名は参加者名のうちその当日登録していただいた方の数字を載せてます。

花畑につきましては、一度書類お持ち帰りになって複数の方が申し込まれたという結果なっております。また一ツ家につきましては、これは保塚、六町地域、非常に地域活動盛んな地域で、この50名につきましては、ほぼほぼ登録したというところでございます。

○川村みこと委員 分かりました。なかなか事前にもどのぐらい登録者がいるかというのは分からない部分もあるかと思うので、難しいのだろうなというふうに思うのですけれども、50名参加者いらっしやって、ほぼほぼ登録してらっしゃる方で、そして結果的に登録者ゼロというふうになってしまっちは、なかなか職員の方々も、ちょっと大変だと思いますし、その辺りは是非ここで、このターゲット層を絞って、ここで増やしていきたいというふうなのを是非事前にリサーチしていただければいいのかなというふうに思います。

そして、(4)の方、区内の各イベントでも周知啓発を行ったという事で、これも多くの方に登録いただいておりますけれども、このイベントの選定というのはどうやって行ったのでしょうか。

○危機管理課長 これ職員がほかの部署が来店するようなイベントと一緒に調整して来店したというような経緯でございます。

○川村みこと委員 分かりました。私、この扇小学校のPTAのお祭りに来店したのが、非常に私はいいなというふうに思っまして、そういった形でPTAの活動をしていらっしやったり、そうでなくてもお子さんがいらっしやる方は、ながら見守り、これのためだけにすごい活動する時間取れないけれども、本当送迎のときとかにやっもらうって、そういうのに本当にぴったりなそうだなというふうに思うんです。

輪投げの参加者も223人いるのですけれども、でも実際登録者4人だったという事で、これは

どういう状況だったのかというところを教えてくださいたいと思います。

○危機管理課長 この扇小のPTAのお祭りにつきましては、今回初めての参加なのですけれども、これ包括支援センターの扇のところもそうなのですけれども、非常に登録者が多いところで、登録者の方がPTAの役員やっいて、参加の依頼いただいたというような経緯でございます。

○川村みこと委員 なるほど、分かりました。参加者の方々にはもうちょっと登録してない方もいるのではないかなというふうに思ったのですが、登録者多かったという事で、今後の方針として、登録しない方が、こういうふうにイベントに出ても、声を掛けてみても登録しない方がなぜ登録してくれないのか、そこを分析していく必要があるかなというふうに思います。

すごい難しいことだったら、私はちょっと時間で協力できないとか、そういうことあるかもしれないのですけれども、そうではないこれ取組なので、やろうと思えば多分皆さんできるはずなんです。何で登録しない人が登録やらないのかとか、この点についての分析は現状いかがでしょうか。

○危機管理課長 当日は職員が直接ながら見守り、こういう事で日常生活をしながら、子どもたちの見守り、高齢者の見守りをお願いしますという事でやっますけれども、もう少し丁寧に説明すればいいとは思いますが、登録していただけないことの分析につきましても把握してまいりたいと思います。

○川村みこと委員 分かりました。

例えば、そのグッズが特に魅力的ではないというふうに感じるのか、すごい説明を受けてもチラシを配布するぐらいであればちょっと難しいことだなというふうに感じてしまうのか。

せっかくいろいろなイベントに職員の方出っいても、そこが多分伝わらないと登録してくれる方増えていかないというふうに思いますので、是

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

非その辺を分析していただいて、7,000人目標ということでしたので、是非7,000人を目指していただきたいなというふうに思います。

最後に、刑法犯についてなのですが、項番3のところで、責める防犯を意識したポジティブな情報発信ということで、この(1)で横断幕を設置するというので、これはすばらしいことだと思うのですが、この横断幕、どんな内容になるのでしょうか。

○犯罪抑止担当課長 責める防犯という形ですので、例えば警察目線で言いますと、この辺りで犯人が捕まりましたよですとか、あなたのことをちゃんと自転車盗犯人見えますよですとか、そういった犯人に訴え掛けるような、そういった内容を掲載したいと思っております。

○川村みこと委員 分かりました。犯人に訴え掛けるのも重要だと思いますし、今おっしゃったように本当にエリアを絞って、やっぱりここというのが伝わるようなやり方がいいなというふうに私も思っています。

もう本当にこの、例えばこの綾瀬であれば足立区で増えてますとかではなく、この綾瀬の東の自転車駐車場でも、ここ最近何件出ましたとか、もうそういう具体的なものがもし出せるのであれば、それぐらい具体的なものを言ってもいいのではないかなと思います。

やっぱり足立区は広いですから、ただ足立区で増えてますと言われても、何かそんなに自分関心が関係ないなみたいな気持ちが働くのではないかなというふうに思いますけれども、多分職員の皆さんも、17時過ぎに梅島までの道で、何かこう犯罪が増えてると言われたら皆さん怖いな、ちょっと気を付けながら、ひたたくりとか気を付けながら帰らなければいけないなと多分思うと思うんですよね。

なので、やっぱり自分事に感じていただけるような取組が必要だと思いますので、是非この横断

幕設置していただけるということですから、ここはもう本当ピンポイントに絞って、自分のことだというふうな感じてもらえるような内容にお願いしたいと思いますので、これは要望させていただきます。ありがとうございます。

○土屋のりこ委員 あやセンターぐるぐるの評価委員会が行われたということなのですが、これまちづくりの在り方として、これまでの既存の町会とかでは組織できなかったというか、そこには参加してこなかった区民の方たちをまちづくりの参加へということで取り組んできた評価が一定出たということで、それが成功しているということのかなと思うのですが、そういった綾瀬で成功したことを、区全体でどう標準化というか、生かしていくのかということも大事かと思うのですが、ここで今後の方針のところでは自走は難しいということなので、一定やっぱり区が責任を持っていかなければいけないということで、ぐるぐるを基幹のセンターとして生かしながら、どういったことが竹の塚以外のエリアでもできるのかということが大事だと思うのですが、

例えば、出張ぐるぐるみたいな感じだったりとか、あと人の発掘をする腰を据えてするということまではできないのかもしれないですが、やっぱりその1か所に限定して税を投入することでは、他の区全体としての持続可能性、まちの持続可能性というところで弱いかと思うので、区内他エリアへの応用や活用というところで、何か今の段階で考えとかはあるのでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 土屋委員おっしゃるとおり他エリアへの展開という視点は非常に大事だと思っております。その他エリアの展開を行政だけが担うのではなく、今、あやセンターも竹の塚も、竹の塚はこれからなのですが、いろいろなエリアの方から利用されています。その人たちをちょっと自分の住んでいるエリアで活動できるように、育成といったらおこがましいのですが、担っ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ていけるような人たちには、一緒に育てていきたいとか、学んでいきたいと考えておりますので、ちょっとほかのエリアの展開についてはもう少しお時間をいただいて、ちょっと考えていきたいと考えております。

○土屋のりこ委員 もう、ここの場の議論にはならないのですが、中央本町に私住んでいて、子どもの学校の弥生小学校適正配置のガイドラインを見たら、1学級になるから黄色信号だよみたいなことが書いてある。将来的に人口減っていくと、この区役所のある中央本町というエリアですら、区中央部ですら、そういった人口減少が実際起こってきていると、具体化してきているということを見てびっくりしたんですけれども。

そうしたときに、町会、既存の町会の人たちだけではなく、様々な人たちも住んできていたりするので、シングルであったりとかファミリーであったりとか、そうした人たちと共につくるまちづくりとか、そういったコンセプトというのは大事になってくる。とりわけ人口減少ということが、テーマになってきている区内のエリアにおいても重要になってくるだろうなということで、いま一度あやセンターでやってきたことというのが、その成果を生かして、区全体のまちづくりということに生かしていけるのではないかなというふうに考えています。

ただそうした人を発掘していくということは難しいということで、時間掛けなければいけないということもあるかとは思っておりますけれども、そうした竹の塚でやろうとしていること、綾瀬でやろうとしていることということを生かして、是非その応用なり活用ということで、全面的にやるというのは難しいと思うのですが、今竹の塚ということは拠点として、第二の拠点として打ち出されて、それ以外にもそれを拠点まではいかないけれども、出張的な感じで巡回したりとかというふうな形でのモデル的な事業というふうなことでも、何かし

らできないのかということ、是非具体的に検討いただきたいということで、検討点としていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 出張ぐるぐるのようなものは声としては実際にいただいておりますので、私たちがちょっと具体的にどうやっていくかというのを考えていきたいと思っております。

○あだち未来創造室長 ちょっとだけ補足させていただきます。

先ほどからも非常に御評価いただいておりますが、限りなのではございますけれども、とはいえまだ2年ぐらいいしかたっていない、まだ走り出しなのかと思っております。その中でやっていく中で、次の竹の塚で見えてくることもたくさんあると思っておりますので、そういったところを生かしながら検討してまいりたいと考えております。

○土屋のりこ委員 それはよく分かるのですが、とはいえ少子化、超少子化というところは待ったなしという状況ですので、是非生かせるところは生かしてということで、スピーディーにやっていただきたいと思っております。

もう1件、刑法犯認知件数の減少に向けた緊急対策ということで、令和8年に入って以降被害が発生しているところに防犯カメラを速やかに設置するという事で打ち出されているのですが、こうした被害が受け付けられているかどうかによって区の支援策補助が変わってくるということがあれば、やっぱりもう今ちょっと昔のことにはなるのですが、ちょっと一言指摘したいなと感じるのですが。

私も四、五年前ぐらいに、自宅に置いてた自転車がなくなっちゃったんですね。ツーロック掛けて、自転車ツーロック掛けてたにもかかわらず、なくなっちゃったことがあって、それを警察署の方に、交番の方に盗まれてしまいましたというふうなことを言ったときに、いや昔の古い自転車だったらねえみたいな感じで、被害を受け付け

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

てくれなかったということがあって、ここの総務委員会でも以前にもお話をしたことがあって2回目になるんですけども、そういう水際だったのか、面倒くさかったのか分からないのですが、そうしたこともあったので、それが受け付けられなかったら、ではまた同じマンションで持っていったらいいやということになるのかもしれないし、警察署さんの方にも、細やかにというか丁寧にそういう話があった場合には対応いただきたいということで、いま一度お話しただけないかと思いますが、いかがでしょうか。

- 危機管理部長 その件に関しては大変申し訳なかったと、警察のことではございますけれども、区としても、そこは何とかしないといけないというふうに考えております。御意見のとおり、この後、丁寧に警察の方にそういった事例があったということを改めて申入れたいというふうに考えております。

[渡辺ひであき委員長退席、  
岡安たかし副委員長着席]

- 渡辺ひであき委員 最後の、特段の事情がない限りこの構成での委員会は最後ということで、少し質疑をさせていただきたいというふうに思います。お時間ちょうだいして、ありがとうございます。

千住宿400周年記念事業のことでの質疑がございました。まずシティプロモーション課長、本当にオーバーワークぐらい頑張られたと思います。御苦労さまでございました。引き続き、この後、まとめもあるでしょうから、頑張っていたきたいと思います。

そこで、そのとき、いろいろな経験をこの1年間させていただきまされたけれども、大名行列では殿様の格好もさせていただきました。松竹の衣装が来られて本格的な殿様の衣装、これ幾らぐらいするのかななんて思いながら着させていただいて、練り歩きもさせていただいた、よい経験をさせていただいて、ありがとうございます。

伊藤委員から、千住の人は★★と言うんだよという話がありましたが、そういうことがないように気を付けますので、どうぞよろしく願いをいたします。

何をこの1年間思いながら、そうしたイベントに参加をさせていただいたとかというと、北千住の駅、私、59年住んでますけれども、ルミネができて、北千住駅西口再開発事業ができて、その時々に関わってきたレジェンドみたいな人たちが、この400周年を見ていたらどんな思いになったんだろうなというふうに思ったんですね。本当に涙が出そうになりますけれども。

だからこそ、岡安委員やへんみ委員からも指摘があったように、これ足立区全体にどう波及させていくか、イメージアップどうつなげていくか、これは本当に大切なことだろうというふうに思います。

西新井大師1200年の話もありました。千住の神社の1100年も今年迎えることになるので、これら踏まえて、是非発信をしていただきたいなと。

そうすると、思い返すのは、舎人公園に、亡くなられた高島先生と考えましたけれども、東京スカイツリーを建てることについての議員連盟をつくったことを思い返すわけであります。そんなことをつらつら話していて質疑しないと叱られてしまいますけれども、正に今後これを改めてどうやって生かしていくかについてお伺いしておきたいと思います。

- シティプロモーション課長 1年間様々な手法でしたりとか、いろいろな地域の方々との関係もつくることができました。これをレガシーにして、次の100周年までに持っていきたいというふうに考えておりますが、シティプロモーション課だけで進められるものではございませんので、観光交流協会ですとか、町内の他の所管とも連携しながら、更に足立区全体をしっかりと魅力を伝えて

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いけるように力を入れていきたいと考えております。

○渡辺ひであき委員 是非よろしく願いいたします。

千住の人たちと今話してるのは、カウントアップしていこうよということを話し出しています。400年で、今年は約401年になるわけですから、これを500年にどうやってつなげていくかというためには、今年は401年、来年は402年、カウントアップしていきながら100年つなげる、人は変わってしまうでしょうけれども、精神は変わらない。こんな歴史を紡いでいけるような千住のまちをつくっていかなくちゃいけないんだらうというふうに思っているわけでありまして。

ただ、最近千住が壊れていってるような気もするわけでありまして。エリアデザインが進んでいいまちになっていくというのはどういうことなんだろうなとか考えたりして、マンションも随分高くなって、そこを変える地元の人たちはなかなかないわけで、ただ住んでいるだけの人たちは固定資産税が上がって住みづらくなったりするということも聞かれるわけでありましてから、こうしたことを、もう全部ひっくるめて、千住のまちづくりをしていかなくちゃいけないんだらうということを思いますが、いかがでしょうか。

○工藤副区長 千住400年を契機に、やはり歴史文化を守っていくということと、やっぱり千住のよさ、路地文化というのも非常に重要です。そういった意味で、今年度からエリアデザインの方で、千住のそういったよさを生かしていくような計画を、駅前と旧道沿いをまず先行してつくっていったらう、それをまた千住全体につなげていくというようなことで、取組を進めていきたいと思っております。

○渡辺ひであき委員 是非私もいろいろな知恵を絞りたいと思います。地域の方々との橋渡しになりたいというふうに思います。よろしく願いいたします。

これは総務委員会で、来年、再来年どこかでまた入るかどうかわからないですけども、いろいろと掘り下げていきたい課題なものですから、さわりとして質疑をさせていただきました。

次に、公共施設等総合管理計画の取組状況、いい資料をつくっていただいております。大きい、厚い冊子の方は、私結構熟読をさせていただいて、12月の本会議でも一般質問させていただきましたけれども、公共施設の在り方というのは、これからもっともって大きくなっていくのだからというふうに思ってるんですね。それは、区民の財産、公共財としての財産を、区民の皆さんが自分たちが納税をした、足立区に住んでよかったと思える対価として感じていただきたいというふうに思います。それは一般質問でもさせていただきましたが改めて、お伺いしておきたいと思っております。

○資産活用部長 渡辺委員おっしゃるとおりでございます。その対価というものを我々がどういうふうにサービスをしていくかというのが重要な部分だと思います。いろいろな情報をいただきながら、その選択をしっかりとしていきたいと考えております。

○渡辺ひであき委員 さて、それで人口が11%減るよ、2030年、2040年、それに向けて公共施設の11%減らしていこう、こういう考え方がすぐすてきだなというふうに思いますし、ただ、その中での区民の皆さんに使っていただく形はどういうふうにしていくかということについては、考えていく必要があるんだなというふうに思っております。

そして、これから公共施設の更新をしていくのに長寿命化をしたり、建て替えなければいけないものがあるということでもありますけれども、さっきZEBの話がありました。これ見ると、工事費50億円と書いてあるんですね。これよろしいですか約。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○中部地区建設課長 委員会資料記載のとおりでございます。

○渡辺ひであき委員 工事費と書いてあるけれども、土地の取得の代金入ってるんですか。

○中部地区建設課長 工事費のみでございます。

○渡辺ひであき委員 そうすると、これ全部で5, 127平米と書いてあるんですよ。これ割り返すと坪単価320万円、その工事費はどうなるんですか。

○中部地区建設課長 やはり、かなり工事費が高騰しておりまして、坪300万円、平米100万円ぐらいが何となく標準化しているというような状況でございます。

○渡辺ひであき委員長 僕も調べてみたんですけども、学校を建て替えるときにSRCであっても、大体坪150万円から180万円という数字があるのですが、それとの差異は何でしょうか。

○中部地区建設課長 構造的なそんなに差異はないと思いますが、やはりSRCだと若干高くなると思いますけれども、近年、やはり繰り返しになりますけれども、物価の高騰と、あと資材の高騰というのがございまして、やはり少しちょっと読めない状況ではございますけれども、いろいろな業界の新聞ですとか、他区のちょっと状況見ますと、学校で80万円から100万円ぐらいの推移で動いているという……。

○渡辺ひであき委員 平米ですか。

○中部地区建設課長 平米です。

○渡辺ひであき委員 これあまりにも、僕が調べた数字と乖離があって、私が間違ったら申し訳ないのでございますけれども、やっぱり坪の単価で320万円の工事費というのは、何となく違和感を感じるの、また詳しく教えてください。

以上です。

[岡安たかし副委員長退席、  
渡辺ひであき委員長着席]

○渡辺ひであき委員長 他に質疑ございますか。

○岡安たかし委員 ちょっと今日、議員に机上配付された監査の指摘事項について、ちょっと資産活用とか危機管理も所管する総務なので……。

○渡辺ひであき委員長 ごめんなさい、その他言っ  
てなかったから。

○岡安たかし委員 ごめんなさい。

○渡辺ひであき委員長 これで報告事項についての  
質疑を終わります。

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 次に、その他に移ります。  
何かありますか。

○岡安たかし委員 すみません、先に言っちゃって  
すみません。

消防用設備の有効期限切れの監査の指摘事項だったんですね。要は何か住区推進課の話なので、本当は区民委員会が一番適してるのかもしれませんが、先ほど言いましたとおりちょっと関わってる総務委員会なので、住区推進課管理の施設において、例えば中央南地域集会所で消防用設備点検補修業務委託において、令和6年、2年前7月の点検報告書で、消火器4本が製造から10年経過して交換を要する旨、報告をしてたんです区に、でも交換しなかった。また令和7年1月の点検でも同様の報告をした、でも交換してない。更に7月の点検のときにも多分報告したんですけども、交換しなかったんですよ。

事務監査実施、令和7年11月のときにも交換がされてなかったということで、1年以上もう放置されてたわけですね。

これに関して、ほかにもあるのですけれども、長門住区センターも、これに関して原因については、担当者は使用に問題はないと判断し、目先の期日等がある事務を優先させてしまい、消火器等がいざというときに使用できない破損事故のリスクがあるなど、区民の命と安全を守る施設安全管

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

理者としての危機意識が欠けていたと。担当者安全管理に関する認識が欠けていたため、今後はルール化をしていくとか、どうかこうとかいろいろ書いてあるのですけれども、これら1枚こういう監査のされて、議員も読んで、はあで済む話かなあと、非常にこれ大事な話だなと思ってるんですね。

様々ガバナンスのところでは、ダブルチェックを怠ってましたとか、トリプルチェックしたけれども、もう2回目も3回目も見落とししましたみたいなのも過去にありました。何の意味もないと思うんですね。3回目のチェックさえ見落としたと、どういうことなのかなあと。

これも1年以上ですよ、1年半です約放置していたわけです。安全だと思っていた、よく食べ物で賞味期限切れるけれども、いいから大丈夫だよみたいな話違うと思うんですね。これ区民の安全意識、安全を守っていくそういう設備ですから、ちょっとここに関してどうなんでしょうね見解というか、これに関して、しっかりと反省も踏まえて、今の決意というか述べてもらいたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○勝田副区長 この点につきましては誠に申し訳なく思っております。

確かに今、岡安委員おっしゃるとおり、監査の報告の中では、緊急性すぐに使えなくなる、期限切れてるのですけれども、その場で使えなくなるわけではないからという認識が甘かったというところがありました。

これに関しましては、公共施設を使っただく以上、区民の方に使っただく以上は、区民の方の生命と安全を確保することが、それが最大の任務でございますので、その認識が区の職員に欠けていたというところは大変申し訳なく、反省する次第でございます。

今、制度としても、必ずこういった制度の確認、内容につきましては、また確認をして、押印をし

て確認する組織全体で確認をするような仕組みに変えておりますので、今後このようなことが二度とないように注意を払ってまいります。大変申し訳ございませんでした。

○岡安たかし委員 よろしくお願ひします。点検委託業者から指摘を度々されていたにもかかわらずですから、ここがちょっと重く受け止めていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

以上です。

○へんみ圭二委員 主権者教育についてなのですが、私たちの会派としては主権者教育をもっともっと行ってほしいという要望を以前からしてきました。

今回の情報連絡を見ますと、高校での実施が令和6年度は7校と1校だったのが、令和7年度は3校とゼロ校ということで、高校での実施が減ってしまったという、非常に残念に感じているのですが、この点について何で減ってるのかということと、あと今年度はどうするのか教えてください。

○選挙管理委員会事務局長 今回この手が挙がらなかった学校について、秋の段階で、電話なり訪問するなりして、やりませんかというお声掛けをさせていただいておりました。1月、2月、3月でもう一度調整してやろうという学校も幾つかあったのですけれども、正直なところ衆議院選挙が突然来ましたので、そこに手が回らなかったというのが、今回の学校数が減ったというところの1つでございます。

今回、小学校力入れておりますけれども、やはり主権者教育、小学校からやった方がいいかなという意見も委員会、事務局の中でもありますし、高校、中学につきましても、昨年秋やったように手が挙がってない学校については直接出向くなり、電話するなりして働きかけを強化していきたいと思っております。

○へんみ圭二委員 是非積極的に進めていただきたいと思ひます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

あと文教大学の学祭のときにやられていますけれども、ほかの大学でも是非やっていくべきではないかなと思いますが、その点はいかがですか。

○選挙管理委員会事務局長 そちらについてもチャンスがあれば積極的に働きかけていきたいと思っております。

○へんみ圭二委員 分かりました。是非こちらから、声を掛けて実施できるように進めていただきたいと思います。

あともう1つ、ふるさと納税、足立の花火についてありました。これ足立の花火の返礼品として有料席を用意するけれども、中止になった場合には返金はしないで代替品を送るということなのですが、これ何を送るのか、大体その総額は幾らぐらいなのか教えていただけますか。

○シティプロモーション課長 昨年の中止のときは、ヨックモックのシガール30本入りをお送りさせていただきました。1つのお品物代としては3,000円相当になります。それが総額幾らになるのかというのが、今ちょっとすぐ計算ができないので、また後ほど、御報告したいと思います。

○へんみ圭二委員 宿泊セット去年は、もう1つホテルが入ってたのですが、今回この1つだけになっているのはどういう理由なのでしょう。

○シティプロモーション課長 去年、ココグランを入れさせていただいていたのですけれども、お申込みがなかったということで、今回ちょっと1回見送らせてほしいということで、協議の結果決まりました。やっぱり直前ですと、なかなか寄附額がかなりの高額になりますので、ここの部分に関してはもう少し早い段階での周知と募集開始をした方がいいのかなということで改善してまいりたいと思います。

○へんみ圭二委員 今年の足立の花火の予算が4億8,000万円ですよね。これ税金を投入するこの公費負担率がどれぐらいなのかというのと、あとは都内の自治体の中で、どれぐらいなるんです

か。断トツトップになるのかなと思うのですが、その辺りはいかがなのでしょう。

○工藤副区長 担当がおりませんので、概算ですけれども、ごめんなさい、すみません。

○観光交流協会事務局長 今年度につきましては、有料席の増分を考えておまして、負担率について、自主財源の確保には努めてまいりますけれども、補助金の負担率については、昨年とほぼ同様で、若干よくなるというところで今考えております。

○へんみ圭二委員 昨年と同様という人多分公費負担率は9割になってしまうということだと思います。今回、この返礼品は代替品を送付することですけれども、やはり4億8,000万円掛かっていて、公費負担率が、もう9割という状況ですから、これはもう代替品の送付も、申し訳ないけれども中止になった場合には、ごめんなさいということにして、そこもリスクをちゃんとお知らせした上でやればいいのかということを感じるのですが。

というのも、今年こそは開催してほしいのですが、天気予報を今、見ますと、5月29日が雨で、5月30日は晴れなんだけれども雷という予想もありますし、グーグルで見ますと5月30日が天気としては、気温も高いけれども降水確率も高いということが出てまして、そうならないでほしいなどは思うのですが、やはり雨になった場合のことも考えて、リスクもちゃんとお知らせした上で、ふるさと納税の返礼品やってもいいのかなと思うのですが、その点はいかがですか。

○シティプロモーション課長 天気のことは何とも言えないので、今後検討していきたいと思っております。

○へんみ圭二委員 なので代替品を送るということは、別に、別にとにかくやらなくてもいいのかなと思うのですが、そこはどうなのですか。

○シティプロモーション課長 そうですね。1回目のときはお送りしなかったんですね。でもほかの

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

自治体の事例等々を見ますと、やはりその中止のときに送っている自治体も多かったということで、おわびの気持ちも兼ねてお送りさせていただいておりますが、こういったやり方が適切なのかというのはまた考えたいと思います。

- 伊藤のぶゆき委員 すみません、お昼なのに、1点だけちょっと聞きたいですけれども、これは答えというか考え方だけちょっと聞いておきたいのですけれども。

この情報連絡の中に、この公共施設の工事発注予定が出てます。多分今いろいろな方から出てて資材の高騰、多分昨日もTOTOが多分ユニットバスの新規の受付を停止している、多分石油製品が今なくなってきてて、知り合いの多分業者さんとかも、もう本当に今資材が高騰してて、高くなってきているということなのですけれども。今のままのペースでいくと発注予定がなかなか難しくなってくるのかなと思うのですけれども、これ今、区は今後どのように考えてるというか、いつ頃検討し始めることになってるのですかね。

- 中部地区建設課長 伊藤委員おっしゃるとおり、そういう情報入ってきてるのですけれども、具体的にこれが入らないというのは、私どももニュースでTOTOのユニットバスが入らないということを認識した次第でございます。

各業者さんは、メーカーからこういうものが高くなる、こういうものが入りにくいという情報はいただいている、私どもにも連絡は入るんですけども、本当に工事ができないかという、まだ今受注されてる方はめどは立ってる。例えば工事やってる方も発注してるので、入ってくるかもしれないけれども、少し遅れるかもしれないという情報入ってるので、まだまだ少しいろいろ情報の収集が必要かなというふうに考えております。

また単価が上がったものについては、今までインプレスライドですとか、あとその商品については単品スライドという制度もございますので、そ

ういうものを活用して、不足分をお支払するという制度もございますので、少し猶予はないのですけれども、時間を見ながら検討していきたいと思っております。

- 伊藤のぶゆき委員 実際工事現場では多分ちょっとパイプとかも、今やってる工事だったら現場にだったら送るけれども、例えば倉庫だったら売りませんとかということが起きてきてるらしいので、これなかなか大変なことだと思うので、是非情報収集だけしっかりしていただければと思いますので、要望です。

- 渡辺ひであき委員長 他に質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 渡辺ひであき委員長 質疑なしと認めます。

では委員長から申し上げます。

特段の事情がない限り、この委員会構成でない限り、今回が最後になると思いますので、一言御挨拶を申し述べさせていただきます。

議長はじめ委員の皆様、区議会事務局はじめ執行委員会の皆様、この1年間大変お世話になりました。拙い委員長でございましたけれども、何とか1年乗り切ることができました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

それでは、岡安副委員長よりお願いします。

- 岡安たかし副委員長 私からも、事務局また議長、そして委員長、執行部の皆様、大変に1年間ありがとうございました。

当委員会は御存じのとおり幅広い案件を審議する委員会ですので、自分自身も様々勉強しながらという意味では、研さんにもつながりましたし、また熟議する中で、区政を様々議論し、区民の皆様のお安全安心をはじめ、いろいろなことを前進できたのかなと思っております。今後、この委員会で得た知識や経験をまた地域に帰って還元したいと決意しております。本当にありがとうございました。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○渡辺ひであき委員長 はたの副委員長よろしくお  
願いします。

○はたの昭彦副委員長 どうも1年間お世話になっ  
てありがとうございました。

1年間副委員長の任務を務めさせていただきま  
したけれども、十分役割は果たせなかったかなと  
思いますけれども、委員長に支えられて1年間や  
っていくことができました。この場を借りてお礼  
申し上げます。ありがとうございました。

○渡辺ひであき委員長 以上をもちまして総務委員  
会を終了させていただきます。

午後零時04分閉会

# 速報版